



Watercolor

水彩画



CONTENTS

- アプリケーションの用途
- Windowsでのインストール
- Macでのインストール
- プログラムの登録
- 操作方法
 - ワークスペース
 - 操作方法
 - 水彩画
 - 水彩 (クラシック)
 - 水彩 (輪郭)
 - 抽象芸術
 - ツールとそのオプション
 - キャンバス
 - フレーム
 - テキスト
 - プリセット
 - 環境設定
 - バッチ処理
 - 印刷
- 操作例
 - 繊細な水彩画
 - 水彩画の肖像画
 - 満開の桜
 - 航行する船: 水彩画
 - Watercolor ギャラリー
- AKVISプログラム

AKVIS WATERCOLOR 7.0 | 水彩画

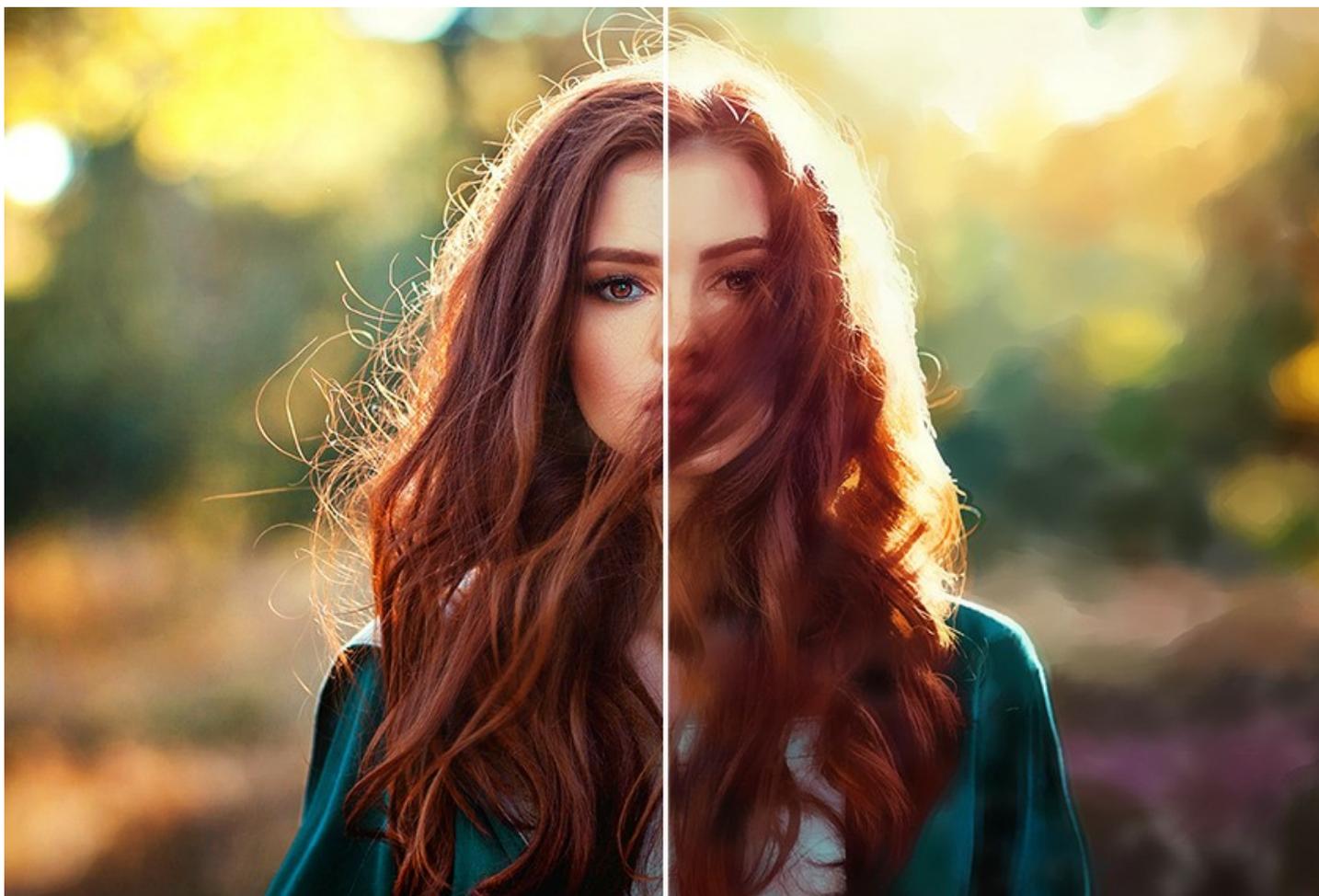
AKVIS Watercolor を使用すると、画像を水彩画のように変換できます。簡単なクリック操作だけで、素晴らしい水彩画を作成できます。写真が本物の絵画のようになります!

プロのアーティストでなくても問題ありません。AKVIS 製品のアーティスティックな効果でアート作品が作成できます!

水彩画とは、最も古くから、最も頻繁に使用されてきたペイント技法ですが、それは着色顔料が水に溶けるからです。水彩画は、鮮やかさで透き通った色、線の滑らかな流動性の線の特徴とした明るく素晴らしい印象を与えます。



自らの芸術作品の製作を夢見たことがあるでしょうか?AKVIS Watercolor があれば、専門的なペインティング技術がなくてもプロのような仕上がりになります。作品の製作には、お好みに合わせて設定を調整し、処理を実行するだけで良いのです。何の変哲もない一枚の写真を素敵な水彩画に変換できます!



AKVIS Watercolor には、写真変換技法が二種類用意されています。**水彩 (クラシック)** または **水彩 (輪郭)** を選択できます。それぞれ、すぐ使用可能なプリセットと調整可能な設定が用意されています。



力強い海洋画、独特の雰囲気を持つ風景画、印象的な肖像画、優雅で洗練された静物画など、幅広い絵のジャンルに対応しています。プログラムを使用して作成した操作例のギャラリーをご覧ください。



このプログラムは、非常に使いやすく、操作が簡単であるため、事前学習は一切不要です。数多くのプリセットが事前に用意されていますので、様々な水彩画法を適用するために使用できます。想像力に弾みをつけるためにも様々なプリセットや紙の色を適用してみてください!



ソフトウェアには、クリエイティブな機能が豊富に含まれています。

どちらの技法でも利用可能な**【抽象芸術】**タブは、どんなデジタル写真でもモダンな抽象芸術作品に変換してしまう追加の設定が用意されています。鮮やかな色と変形した形が含まれたモダンな雰囲気をもった作品を作ることができます！



より印象的でリアルな作品にするために、[装飾]タブを使用できます。水彩画用紙の質感（テクスチャ）を出したり、フレームを追加したり、サインを挿入して他にない作品にできます。



イメージの最後の仕上げに、**水彩ブラシ**や他の**後処理ツール**を使用することもできます。

プログラムがサポートしている**パッチ処理**機能は、一連の(複数の)イメージを処理する場合に、時間と労力の節約になります。



AKVIS Watercolor は、**スタンドアロン** プログラムとして、またフォトエディターの**プラグイン**としても使用できます。互換性のあるプログラムは、[AliveColors](#)、Adobe Photoshop、Corel Paint Shop Pro などです。詳細は、[対応表](#)をご覧ください。

ライセンスの種類によってプログラムの機能が異なります。試用期間中にすべてのオプションを試すことができますので、利用環境に最適な種類を選んで購入できます。

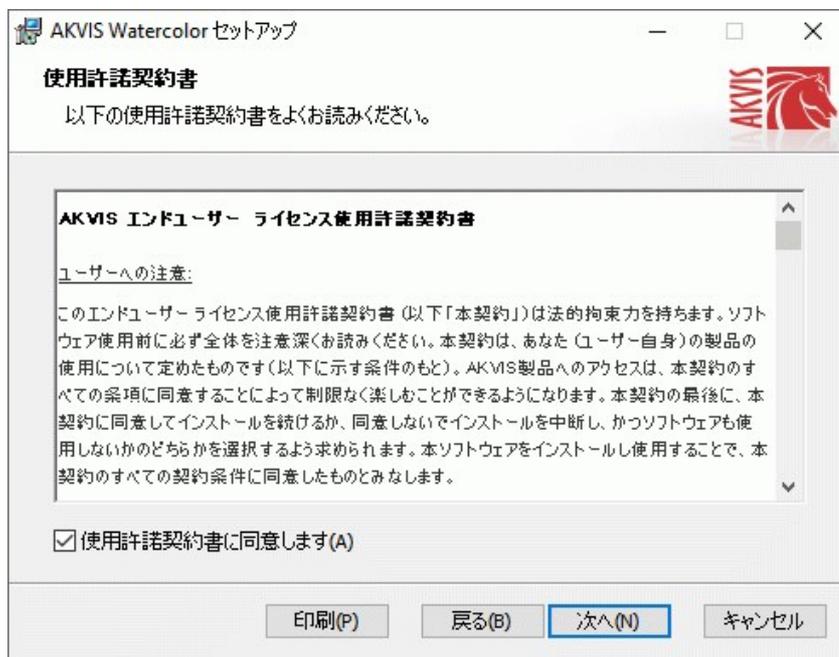


インストール

AKVIS Noise Buster AI を Windows OS 搭載の PC にインストールするには、次の指示に従います。

- セットアップ用の exe ファイルをダブルクリックして起動させます。
- 言語を選択し、[OK]をクリックするとインストール画面が表示されます。
- インストールを続行するには、**ライセンス契約書**を読み、同意する必要があります。

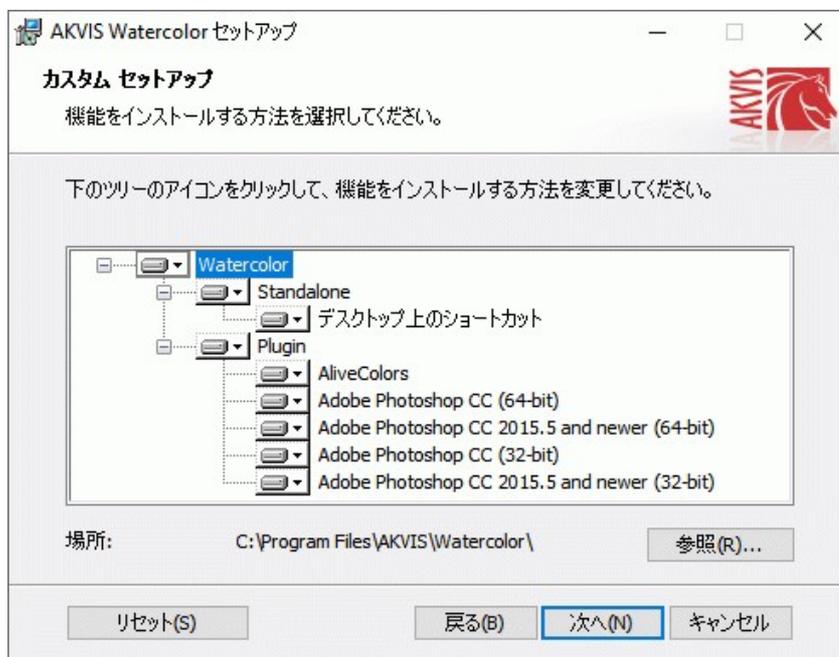
[使用許諾契約の条項に同意します]チェックボックスをオンにして、[次へ]をクリックします。



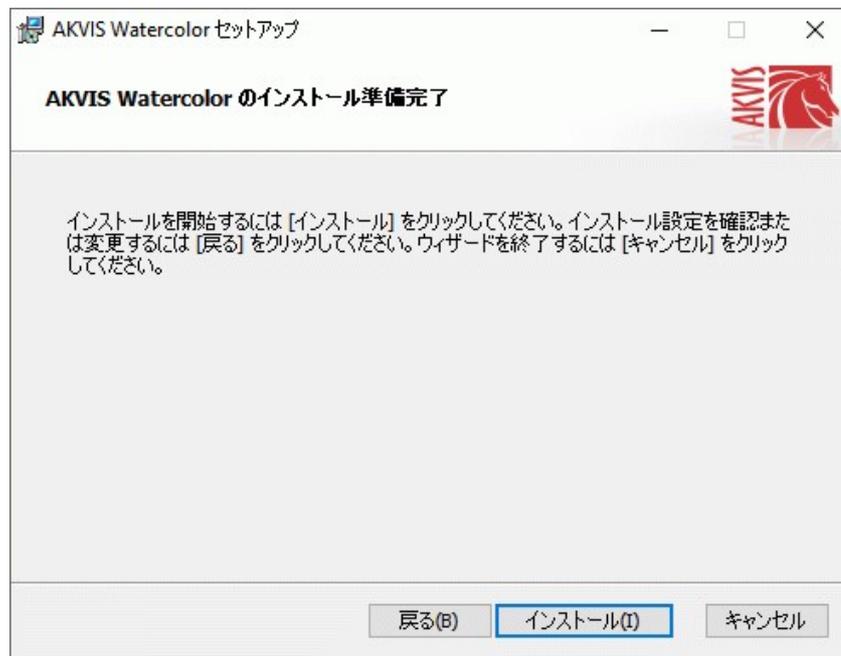
- プラグイン版をインストールする場合は、一覧から使用するフォトエディターを選択します。

スタンドアロン版をインストールする場合、[Standalone]が選択されていることを確認ください。
デスクトップにプログラムのショートカットを作成する場合、[デスクトップにショートカットを作成]を選択します。

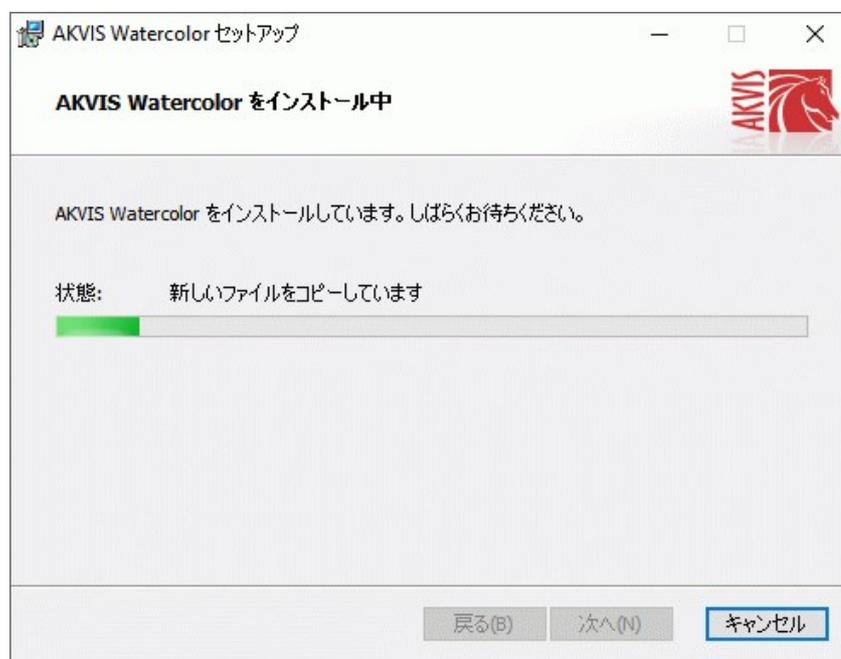
[次へ]をクリックします。



- [インストール]ボタンをクリックします。

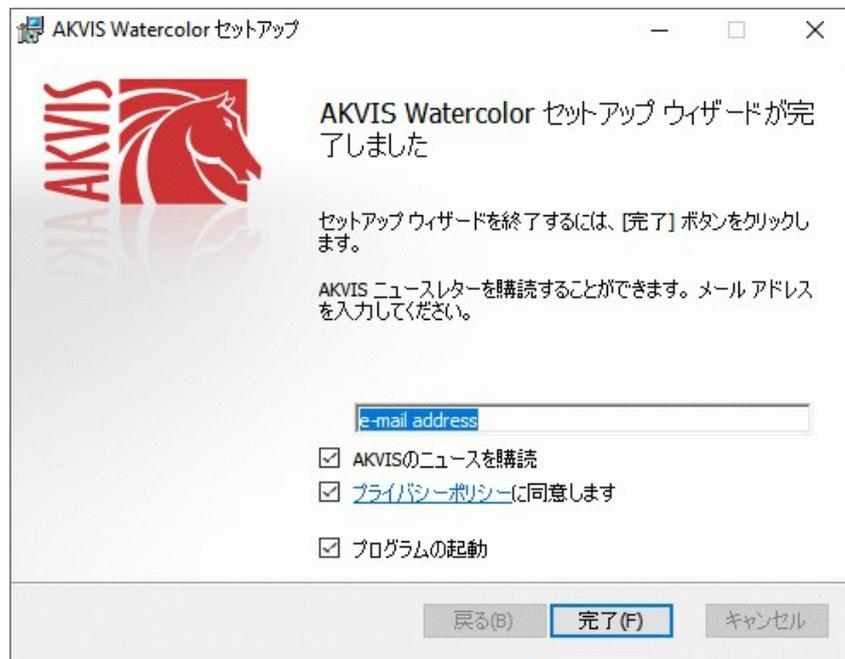


- インストール処理が開始されます。



- これでインストールは完了です。

AKVIS ニュースレターの購読を申し込むと、アップデート、イベント、割引キャンペーン等についてのお知らせを受け取ることができます。メールアドレスを入力し、プライバシーポリシーを確認し、同意する必要があります。



- **【完了】**をクリックします。

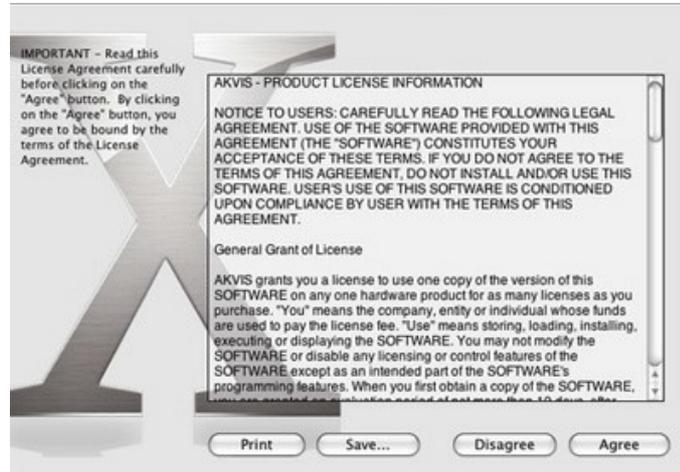
スタンドアロン版をインストールすると、**【スタート】**メニューにプログラムの新しい項目が追加されます。[デスクトップにショートカットを作成]オプションを選択した場合、デスクトップにショートカットも追加されます。

プラグイン版をインストールすると、フォトエディターの**【フィルター】**または**【効果】**メニューに新しいアイテムが追加されます。**Photoshop** の場合、**【フィルター】** > **【AKVIS】**> **【Noise Buster AI】**となります。

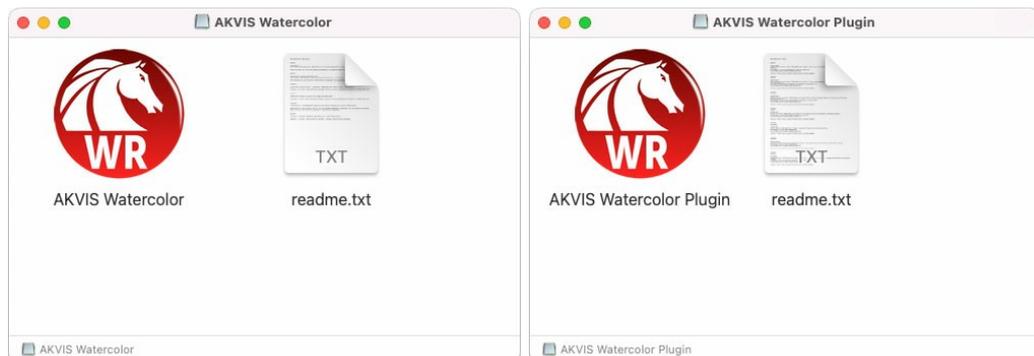
インストール

AKVIS Watercolor を Mac PC にインストールするには、次の指示に従います。

- dmg ファイルを開きます：
 - akvis-watercolor-app.dmg (スタンドアロン版をインストールする場合)
 - akvis-watercolor-plugin.dmg (プラグイン版をフォトエディターにインストールする場合)
- ライセンス使用許諾契約書を読み、同意する場合は、[Agree(同意)] をクリックします。



- Finder が開き、AKVIS Watercolor App または AKVIS Watercolor PlugIn フォルダが表示されます。



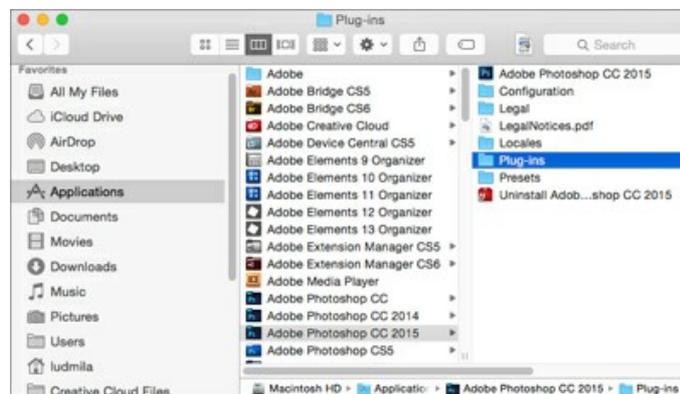
- スタンドアロン版をインストールするには、AKVIS Watercolor アプリケーションを [Applications] フォルダ、または希望の保存先にドラッグします。

プラグイン版をインストールするには、[AKVIS Watercolor PlugIn]フォルダを、グラフィック エディターの[Plug-Ins]フォルダにドラッグします。

Photoshop CC 2022, CC 2021, CC 2020, CC 2019, CC 2018, CC 2017, CC 2015.5 の場合、Library/Application Support/Adobe/Plug-Ins/CC

Photoshop CC 2015 の場合、Applications/Adobe Photoshop CC 2015/Plug-ins

Photoshop CS6 の場合、Applications/Adobe Photoshop CS6/Plug-ins に移動させます。



プラグイン版をインストールすると、フォトエディターの[フィルター]メニューに新しいアイテムが追加されます。**Photoshop** の場合は、**[フィルター] > [AKVIS] > [Watercolor]**が追加されます。

スタンドアロン版は、**Finder** のアイコンをダブルクリックすることにより実行します。

AKVIS プログラムを実行する別の方法は、[Image]メニューの[Edit With]コマンドから、**Photos** アプリケーションを選択することです (High Sierra 以降の macOS)。

AKVIS製品のアクティベーション方法

注意: この方法でアクティベーション処理を行うには、インターネット接続が必要です。

インターネット接続環境がない場合、別の方法でのアクティベーションも提供しています(詳細は「[オフライン アクティベーション](#)」を参照)。

AKVIS Watercolor をダウンロードし、プログラムをインストールしてください。インストール方法の詳細はこちら。

アクティベーションを行っていないプログラムを起動すると、スプラッシュ ウィンドウが表示され、バージョン情報や試用期間の残り日数等を知らせてくれます。

[バージョン情報]ウィンドウは、プログラムのコントロールパネル内の  ボタンをクリックして表示することもできます。



ソフトウェアを試しに使う場合は、**[試用]**をクリックします。新しいウィンドウが開き、試用可能なライセンスの一覧が表示されます。

ソフトウェアのすべての機能を試用するために、試用版をアクティベートする必要はありません。プログラムを試用期間の10日間、使用するだけです。

試用期間中にすべてのオプションを試すことができますので、利用環境に最適な種類を選んで購入できます。使用するバージョンを選択します。**Home**(プラグイン/スタンドアロン)、**Home Deluxe** または**Business**から選択します。選択するライセンスによってプログラムで利用できる機能が異なります。ライセンスの種類やソフトウェアのバージョンに関する詳細は、[比較表](#)を参照してください。

試用期間が終了している場合、**[試用]** ボタンは選択できません。

[購入]ボタンをクリックして、購入するライセンスを選択してください。

支払いが完了するとすぐに、プログラム用のシリアル番号が送られます。

アクティベーション処理を開始するには、**[アクティベート]**をクリックします。

AKVIS Watercolor
バージョン 6.0.343.21261-r app (64bit)
⊗

アクティベーション

お客様名:

John Smith

シリアル番号:

1234-5678-9012

アクティベーションサーバーへの直接接続
 電子メールでリクエストを送信

シリアル番号を忘れた場合、[こちらからリストア](#)できます。

アクティベーションで問題が生じた場合、[お問い合わせ](#)ください。

HWIDをコピーします。

アクティベート
キャンセル

© 2016-2021 AKVIS. All rights reserved

お客様名を入力します (プログラムはこの名前登録されます)。

シリアル番号 (アクティベーション キー) を入力します。

アクティベーション方法 (アクティベーション サーバーへの直接接続または電子メール) を指定します。

アクティベーションサーバーへの直接接続:

直接接続を利用して登録を行う方が安全かつ迅速に処理が行えますので、弊社ではその方法を推奨しています。

この方法でアクティベーション処理を行うには、インターネット接続が必要です。

[アクティベート]をクリックします。

これでアクティベーションは完了です!

電子メールでリクエストを送信:

[電子メールでリクエストを送信]を選択した場合、プログラムによって、必要な情報をすべて含んだ新規メールが作成されます。

注意: この方法は、**オフラインアクティベーション**でも利用できます。

コンピューターがインターネットに接続されていない場合、USB 等を利用して、インターネットに接続されているコンピューターにアクティベーションに関するデータを移動させます。情報の送り先: activate@akvis.com までお送りください。

スクリーンショットを添付しないでください! テキストだけをコピーして、保存してください。

必要な情報は、ソフトウェアのシリアル番号、お客様名、コンピューターのハードウェアID (HWID) です。

この情報を元に、ライセンス ファイル(Watercolor.lic) を作成し、登録されているメールアドレスにお送りします。

この .lic ファイルを開けずに保存します。保存先は、ソフトウェアをアクティベートするコンピューターの **[AKVIS]**フォルダー ([ユーザー] > [パブリック] > [パブリックのドキュメント]) です。

- Windows 7/8/10 の場合:

Users\Public\Documents\AKVIS;

- Mac の場合:

Users/Shared/AKVIS

これでアクティベーションは完了です!

プログラムがアクティベート済みの場合、[購入]は[アップグレード]に変わり、ライセンスのアップグレードができるようになります。たとえば、Home から Home Deluxe または Business へのアップグレードができます。

ワークスペース

AKVIS Watercolor を使用すると、写真を水彩画のように変換できます。ソフトウェアは、独立した**スタンドアロン** プログラムとして、また、ご使用のフォトエディターの**プラグイン**としても機能します。

- **スタンドアロン**は独立したプログラムで、プログラムのアイコンをクリックして開くことができます。

スタンドアロン版を起動する方法:

Windows コンピューターの場合: [スタート]メニューまたはプログラムのショートカットを使用します。

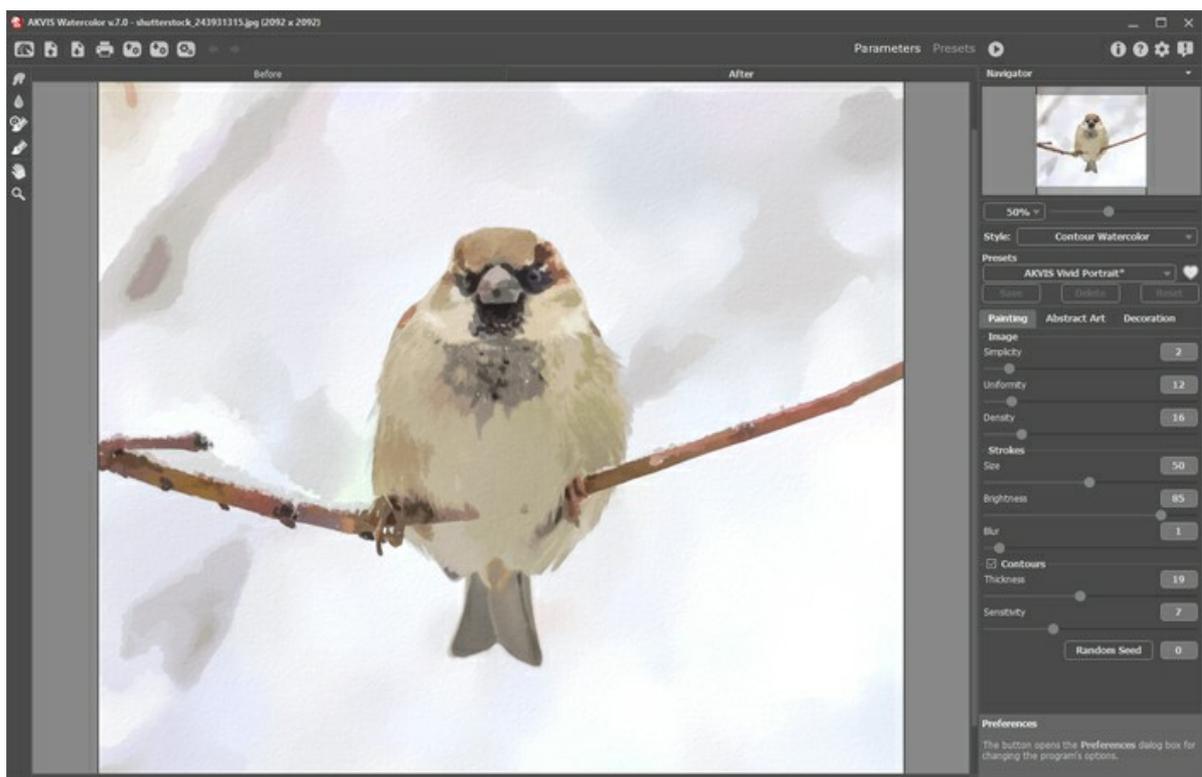
Mac コンピューターの場合: [アプリケーション]フォルダーからアプリを起動します。

- **プラグイン**は、Photoshop 等の**フォトエディター**のアドオンとして動作します。

プラグイン版を呼び出すには、イメージエディターの**フィルター**から**選択**します。

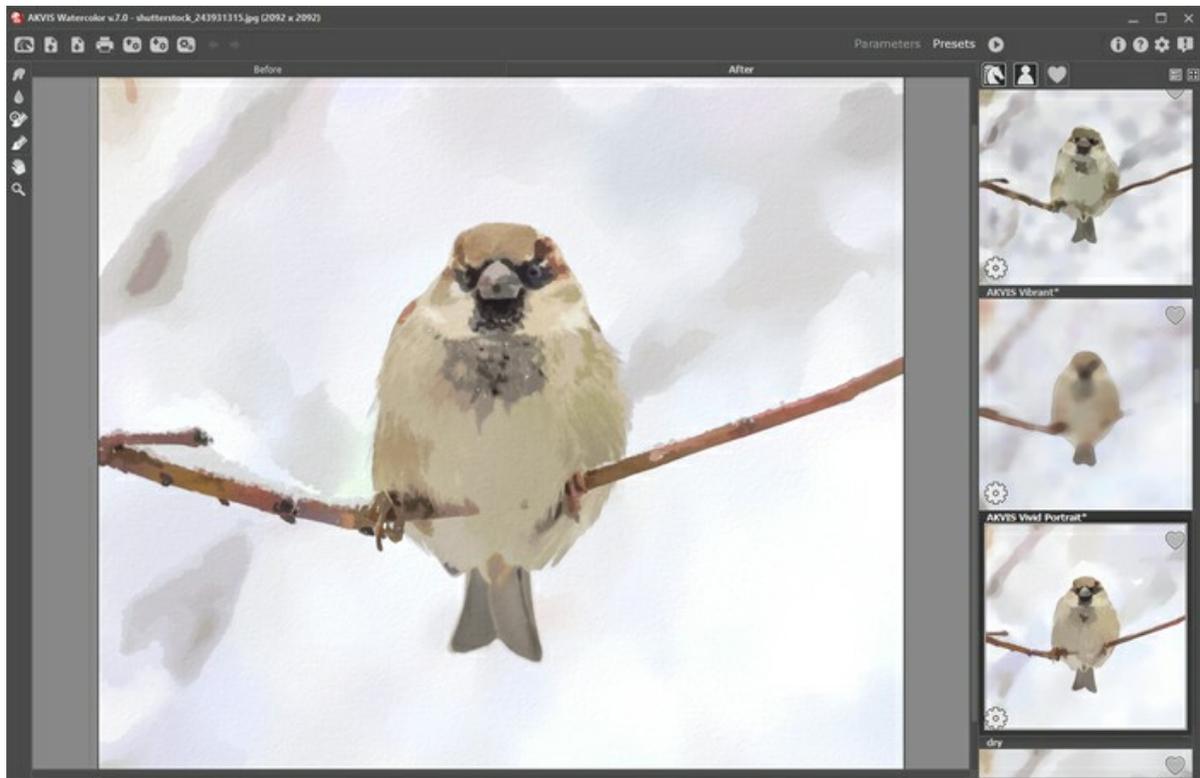
ワークスペースの配置は、インターフェイス モードによって異なります。選択可能なインターフェイス モードは、**パラメーター**または**プリセット**です。

パラメーター モードでは、従来の標準的なウィンドウが表示されます。



AKVIS Watercolor のワークスペース (パラメーター モード)

トップパネルの[プリセット]をクリックすると、プリセットの視覚表示モードを切り替えることができます (**プリセット ギャラリー**)。



AKVIS Watercolor のワークスペース (プリセット モード)

AKVIS Watercolor のワークスペースの左側には**イメージウィンドウ**があり、[処理前]と[処理後]の 2つのタブで構成されています。[処理前]と[処理後]の 2つのタブで構成されています。[処理前]タブには、元の画像が表示されます。[処理後]タブには、処理後の画像が表示されます。タブを切り替える場合は、タブをクリックします。処理前と処理後の画像を比較したい場合、イメージをクリックしたままの状態にすると、画像が何秒かごとに切り替わります。

ウィンドウ上部には、以下のボタンを含む**コントロールパネル**があります。

: AKVIS Watercolor のホームページに移動します。

: イメージを開きます (スタンドアロン版のみ)。この操作に対するホットキーは、Windows の場合 **Ctrl+O** キー、Mac の場合 **⌘+O** キーです。

このボタンを右クリックすると、最近使用したファイルの一覧が表示されます。表示するファイル数をプログラムの**[環境設定]**で変更することもできます。

: 処理したイメージをディスクに保存します (スタンドアロン版のみ)。この操作に対するホットキーは、Windows の場合 **Ctrl+S** キー、Mac の場合 **⌘+S** キーです。

: **[印刷]** ダイアログボックスが開きます (スタンドアロン版のみ)。この操作に対するホットキーは、Windows の場合 **Ctrl+P** キー、Mac の場合 **⌘+P** キーです。

: **プリセットの一覧** (.watercolor ファイル) を読み込みます。

: **ユーザープリセット** を .watercolor 拡張子のファイルに保存します。

(スタンドアロン版のみ) : 画像をまとめて自動変換できる**バッチ処理**ダイアログを開きます。

: 保存されている**誘導ライン** (.direction ファイル) を読み込みます。

: **誘導ライン**を .direction ファイルに保存します。

/ : 誘導ラインの表示を切り替えます。

: 各ツールを使って行った最後の操作を取り消します。連続した複数の操作を取り消すことができます。この操作に対するホットキーは、Windows の場合 **Ctrl+Z** キー、Mac の場合 **⌘+Z** キーです。

: 最後に取り消した操作をもう一度やり直します。連続した複数の操作をやり直すことが可能です。この操作に対するホットキーは、Windows の場合 **Ctrl+Y** キー、Mac の場合 **⌘+Y** キーです。

: 現在の設定でイメージの処理を実行します。処理後の画像が[処理後]タブに表示されます。

: 変換結果をイメージに適用し、プログラムを閉じます (プラグイン版のみ)。

: プログラムに関する情報、つまりバージョン、試用期間、ライセンス情報を表示します。

: **ヘルプファイル**を呼び出します。この操作に対するホットキーは、**F1** キーです。

: プログラムのオプション設定を変更するための**[環境設定]**ダイアログボックスを開きます。

: Watercolor に関する最新のニュースを別ウィンドウで表示します。

イメージウィンドウの左側には、**ツールバー**があります。[処理前] / [処理後]タブにはそれぞれ、異なるツールが表示されます。

事前処理ツール ([処理前]タブ):

: **クイックプレビューウィンドウ**のオン/オフ (表示/非表示) を切り替えます。



：スタンドアロン版のみになりますが、**切り取りツール**を有効にし、画像内の不要部分の切り取りを行うことができます。



：ブラシストロークの方向を変更する誘導ラインの描画に使用する**ストローク方向** ツールを有効にします (**水彩 (クラシック)** 技法を Home Deluxe または Business ライセンスで使用している場合のみ)。



：**消しゴム ツール**を有効にし、ストローク方向ツール等で描画した誘導ラインを消します。

後処理ツール (Home Deluxe と Business ライセンスの[処理後]タブ)



：**指先ツール**を有効にし、不自然なペイント部分を手動で取り除くことで、仕上がりをよくできます。



：**ぼかしツール**を有効にすると、カラーコントラストを低くすることでイメージのもつ鮮明さを抑える効果があります。



：**履歴ブラシ ツール**を有効にすると、水彩画効果を弱め、画像を部分的もしくは全体的に元の状態にリストアします。



：**水彩ブラシ ツール**を有効にし、透き通った半透明な水彩のストロークを描画できます。

その他のツール



：**手のひら ツール**を有効にし、画像を動かしてウィンドウに表示されていない部分を表示できます。実際にツールを使用するには、画像上でクリックしたままドラッグして表示画像を動かします。

ツールのアイコン  をダブルクリックすると、イメージは、イメージウィンドウに合わせたサイズで表示されます。



：**ズーム ツール**を有効にし、イメージの表示サイズを変更します。ズームイン (拡大) するには、画像内をクリックします。クリックしながら **Alt** キーも押し、ズームアウトします。 **Z** キーを押すと、クリックなしで、ズーム ツールに切り換えられます。

ツールのアイコン  をダブルクリックすると、イメージが 100% の倍率 (実際の大きさ) で表示されます。

イメージをナビゲートしたり、拡大/縮小するには **ナビゲーター**を使用します。**ナビゲーター**の赤枠で囲まれた領域は、現在メイン ウィンドウに表示されている領域です。赤枠の外はグレー表示になります。赤枠をドラッグすると画像の表示領域を変更できます。赤枠を移動させるには、マウスをクリックしたままカーソルをドラッグします。



ナビゲーター

ウィンドウで画像をスクロールするには、キーボードのスペースキーを押しながら画像をドラッグします。マウスのスクロールホイールを使うと、イメージは上下に動き、**Ctrl** キーを押しながらの場合は左右に動き、**Alt** キーを押しながらの場合は拡大/縮小されます。スクロールバーを右クリックすると、クイックナビゲーション メニューが表示されます。

スライダーを使用して、メインウィンドウ内のイメージを拡大/縮小できます。スライダーを右に動かすと、イメージは拡大されます。スライダーを左に動かすと、イメージは縮小されます。

さらに、[拡大/縮小]欄に値を入力してイメージを拡大/縮小することもできます。プルダウンメニューには、使用頻度の高い値が表示されます。

画像の拡大/縮小は、ホットキーを使っても行えます。**+** または **Ctrl** **++** キー、Mac の場合 **⌘** **++** キーで拡大、**-** または **Ctrl** **+-** キー、Mac の場合 **⌘** **+-** キーで縮小します。

[ナビゲーター]の下には、[設定パネル]があり、ペイント技法 (**水彩 (クラシック)** または **水彩 (輪郭)**) や**プリセット**を選択したり、それぞれのタブのパラメーターを調整したりできます。

- **[ペイント]タブ**: 選択した技法、**水彩 (クラシック)** または **水彩 (輪郭)** に応じて、水彩効果の設定を調整します。
- **[抽象芸術]タブ**: これらの追加設定を使用すると、少し変わったユニークな形の、色鮮やかな作品を作成できます。
- **[装飾]タブ (テキスト/キャンパス/フレーム)**: 画像にテキスト、ロゴ、ウォーターマークを追加したり、キャンパスを変更したり、フレームを適用したりできます。

設定パネル の下には、カーソルをパラメーターやボタンに合わせた場合に、**ヒント**が表示されます。ヒントの表示位置や表示/非表示の設定は、プログラムの**環境設定**で行うことができます。

プログラムの操作方法

AKVIS Watercolor は、写真を鮮やかな水彩画に変換します。このソフトウェアは、**スタンドアロン プログラム**として、またフォトエディターの**プラグイン** フィルターとしても使用できます。

写真から水彩画に変換するには、以下の手順で行います。

ステップ 1: イメージを開きます。

スタンドアロン版で作業する場合:

[ファイルを開く]ダイアログボックスを開くには、空のワークスペースをダブルクリックするか、 ボタンをクリックします。使用可能なホットキーは、Windows の場合 **Ctrl + O** キー、Mac の場合 **⌘ + O** キーです。ワークスペースにイメージをドラッグすることもできます。スタンドアロン版は、**JPEG、RAW、PNG、BMP、TIFF** ファイル フォーマットをサポートしています。

- プラグイン版で作業する場合:

使用する**フォトエディター**の[ファイル] > [開く]コマンドを使用して画像を開きます。

フォトエディターのメニューからプラグインを呼び出します。

AliveColors の場合、[効果] > [AKVIS] > [Watercolor]、
Adobe Photoshop の場合、[フィルター] > [AKVIS] > [Watercolor]、
Corel Paint Shop Pro の場合、[効果] > [プラグイン] > [AKVIS] > [Watercolor]、
Corel Photo-Paint の場合、[効果] > [AKVIS] > [Watercolor]を使用します。

ワークスペースの配置は、インターフェイス モードによって異なります。選択可能なインターフェイス モードは、**パラメーター**または**プリセット**です。



AKVIS Watercolor ウィンドウ

ステップ 2: 効果をスタンドアロン版で適用する前に、**切り取りツール**  を使って写真の一部を切り取って構成 (バランス) を調整することができます。プラグイン版の場合、フォトエディターでこの作業を行えます。

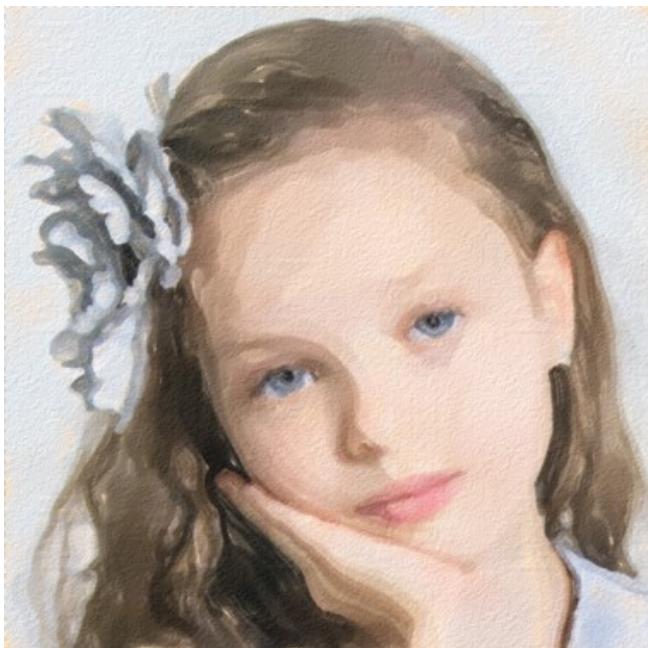


切り取りツール

ステップ 3: 設定パネルで、水彩画の描画技法、**水彩 (クラシック)** または**水彩 (輪郭)** を選択します。

水彩 (クラシック) 技法は、透き通った絵の具を使った水彩画を作り出します。様々な設定を使用することにより、多様なペイント画法を模倣することができます。

水彩 (輪郭) 技法は、ウェットオンドライ技法と似ていて、水彩絵の具と鉛筆の両方を取り入れた描画方法が使用されます。



水彩 (クラシック)



水彩 (輪郭)

[ペイント] タブでは、選択した水彩画技法の各種設定を調整できます。

さらに、**[抽象芸術]** タブを使用すると、オブジェクトの形や色を変更し、独特かつ素晴らしい印象を与えることができます。この機能は **Home Deluxe** および **Business** ライセンスでのみ利用可能です。

変換結果は、即座に、**プレビュー領域** に表示されます。



プレビュー ウィンドウ

ヒント: 選択するだけで、利用が簡単な**プリセット**を適用できます。

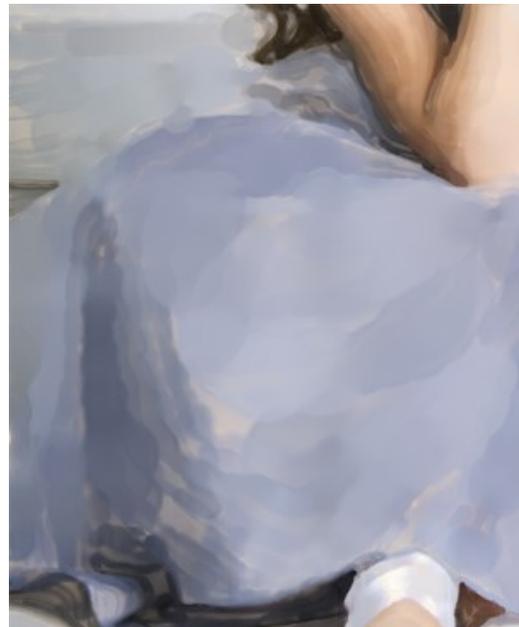
ステップ 4:  をクリックして、新しい設定を基に写真を水彩画に変換します。処理を中断する場合は、進捗バーの右側の[停止]ボタンをクリックします。

ステップ 5: 水彩 (クラシック) 技法は [Home Deluxe/Business](#) ライセンスでのみ利用できますが、**ストローク方向** ツール  (ストロークの方向の指定) を使用して、自動変換を使用した処理結果を編集できます。

誘導ラインを描画し、 ボタンをクリックして再処理を行います。



自動変換時のブラシストローク



修正されたブラシストローク

ステップ 6: より印象的でリアルな作品にするために、[装飾]オプションの**[キャンバス]**、**[フレーム]**、**[テキスト]**を使用することもできます。

ヒント: 装飾効果の追加順は、タブの位置に対応しています。順番を変更するには、タブをドラッグします。



水彩画にキャンバスを追加

ステップ 7: 変更したパラメーターの設定を**プリセット**として保存し、後で使用できます。[プリセット]欄にプリセット名を入力し、[保存]ボタンをクリックします。新しいプリセットを作成すると、すべてのタブで設定すべてが利用できるようになります。

ハート型のアイコン をクリックすると、プリセットを**お気に入り**に追加したり、削除したりできます。

[Watercolor プリセットの詳細はこちら。](#)

ステップ 8: 画像の仕上げとして、**後処理ツール**の 、、、 が利用できます (Home Deluxe/Business ライセンスのみ、[処理後]タブよりアクセス)。

注意: これらのツールは、必ず、最終処理段階で使用してください。▶ ボタンで処理を再実行した場合、ブラシを使用した編集が失われる場合があります!

ステップ 9: スタンドアロン版で**印刷**を行う場合は、 をクリックします。プラグイン版の場合、グラフィック エディターの印刷オプションをご利用ください。

ステップ 10: 処理したイメージを保存します。

スタンドアロン版で作業する場合:

 をクリックすると、[名前をつけて保存]ダイアログボックスが開きます。使用可能なホットキーは、Windows の場合 **Ctrl+S** キー、Mac の場合 **⌘+S** キーです。ファイル名を入力し、ファイルの種類 (TIFF、BMP、JPEG、PNG) を選択し、保存先フォルダーを選択します。

プラグイン版で作業する場合:

 をクリックして結果を適用し、プラグイン ウィンドウを終了します。AKVIS Watercolor プラグインが終了し、画像がフォトエディターのワークスペースに表示されます。

[ファイル] > [名前を付けて保存]コマンドを使用して[名前を付けて保存]ダイアログボックスを開き、ファイル名の入力、ファイルの種類の選択、保存先フォルダーの指定を行います。



写真を水彩画に変換

水彩画効果

AKVIS Watercolor は、写真を鮮やかな水彩画に変換します。数回のクリックだけで、オリジナルの芸術作品を作成することができます！

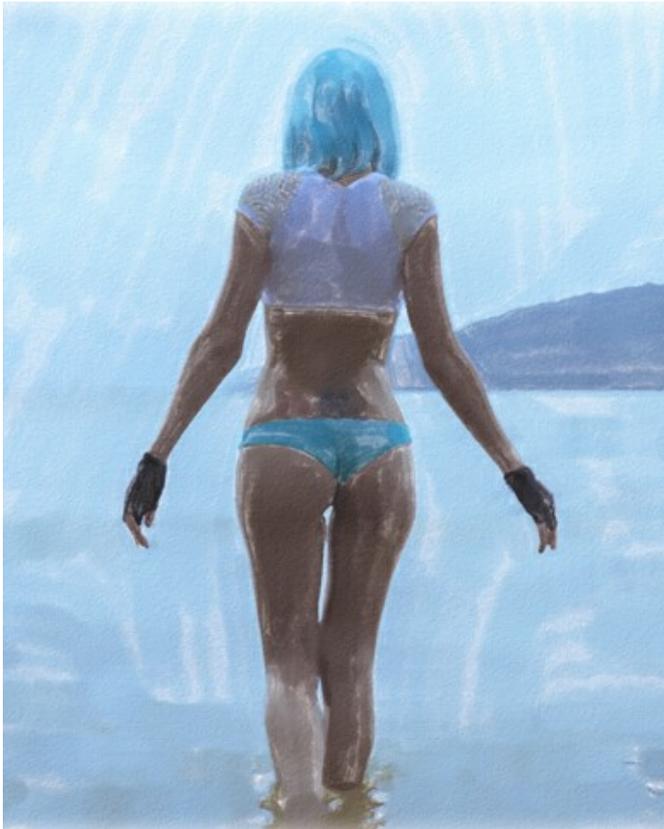
水彩画技法を選択し、設定パネルの[ペイント]タブの効果パラメーターを調整できます。

プログラムには、写真変換技法が2種類用意されています。**水彩 (クラシック)** または**水彩 (輪郭)**を選択できます。どちらの技法も、すぐに使用可能なプリセットが数多く用意されています。

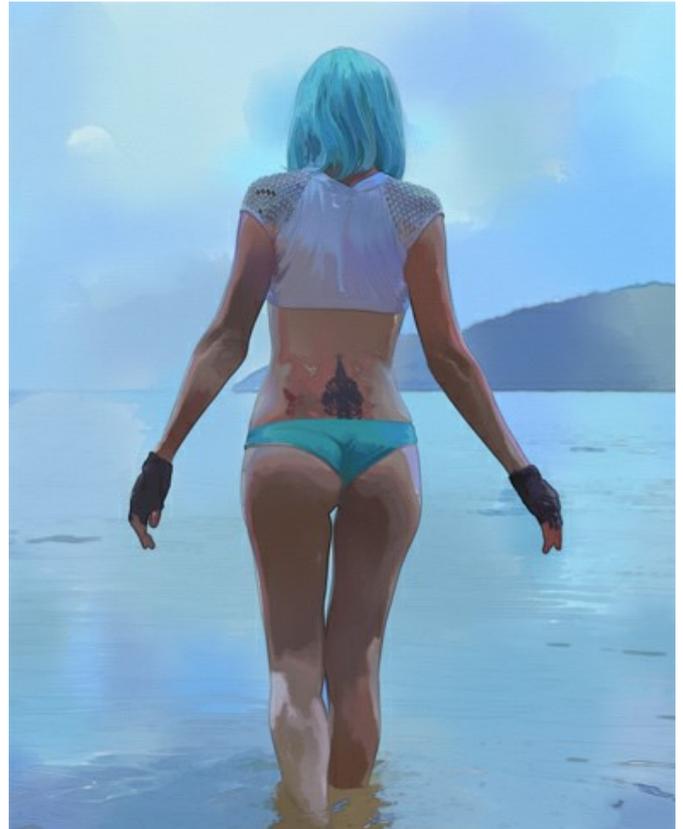
水彩 (クラシック) 技法は、透き通った絵の具を使った水彩画を作り出します。様々な設定を使用することにより、多様なペイント画法を模倣することができます。

水彩 (輪郭) 技法は、ウェットオンドライ技法と似ていて、複数の描画方法が使用されます。オブジェクトのエッジ部分を強調するために細い線が追加され、水彩画と鉛筆画を組み合わせたような効果が得られます。この技法を使用した場合、色がより鮮やかかつ鮮明になり、グワッシュ画やポスターアートに似た結果となるかもしれません。

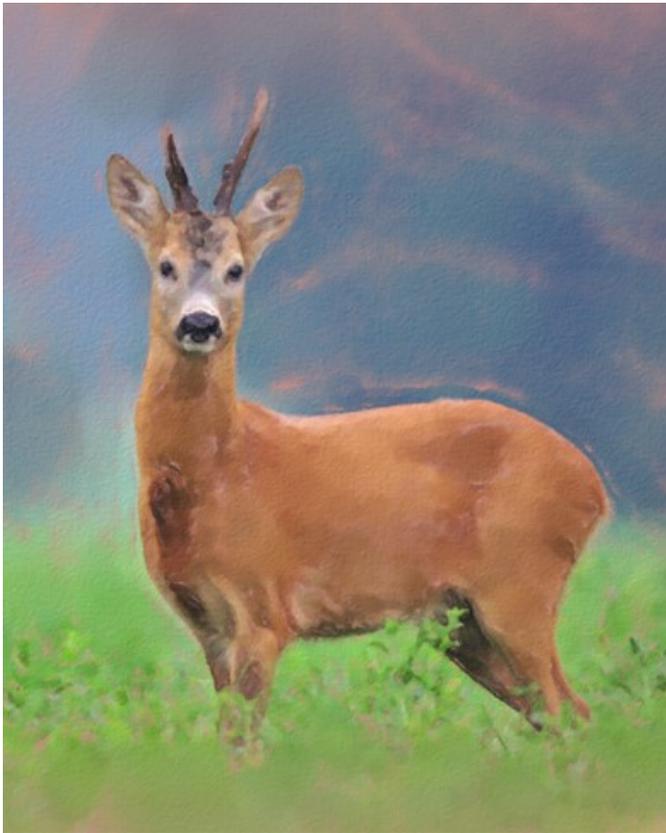
それぞれの効果を試して、イメージに合ったものをお選びください。



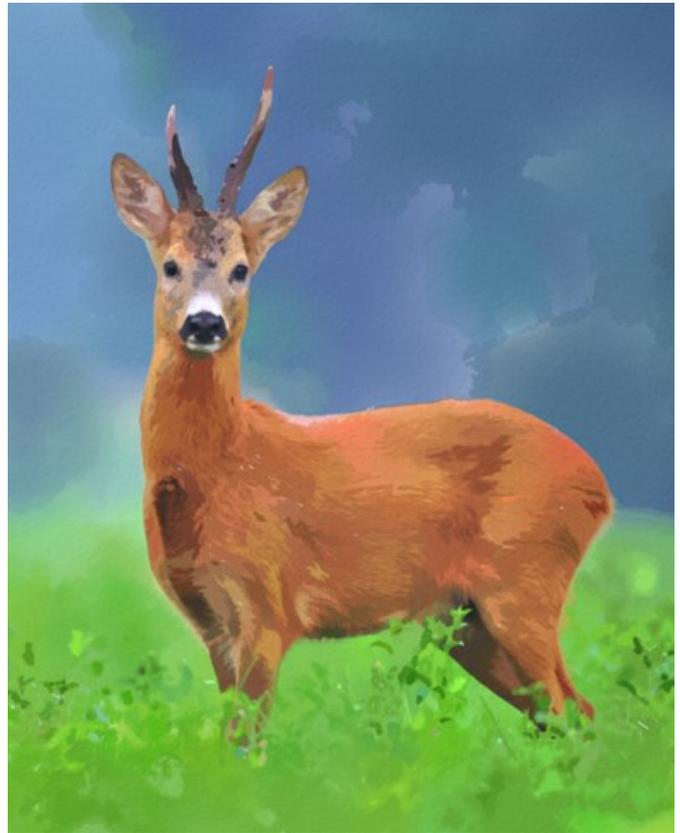
水彩 (クラシック)



水彩 (輪郭)



水彩 (クラシック)



水彩 (輪郭)

注意: **水彩 (クラシック)** 技法には、生成済みブラシストロークの方向を変更できる**ストローク方向ツール**  もあります。他のツールは、どちらの技法でも使用できます。

水彩 (クラシック)

水彩 (クラシック) 技法は、透き通った絵の具を使った水彩画を作り出します。様々な設定を使用することにより、多様なペイント画法を模倣することができます。



写真を水彩画に変換
水彩 (クラシック)

効果パラメーター:

紙の色: 紙の色を指定します。パレット をダブルクリックして色を選択します。



白い紙



淡い赤色の紙

ストロークの太さ (設定可能範囲は 1-100): ブラシ ストロークの幅を調整するパラメーターです。



ストロークの太さ = 10



ストロークの太さ = 40

ストロークの最大長 (設定可能範囲は 1-200): ストロークの長さの最大値を設定するパラメーターです。

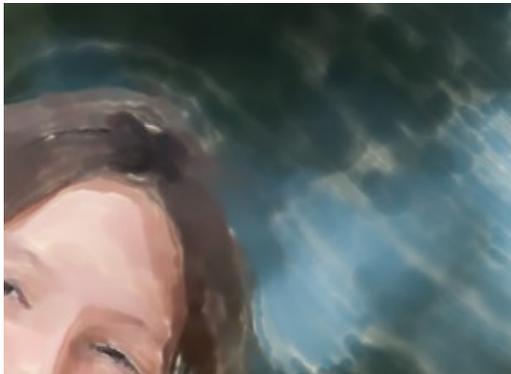


ストローク最大長 = 40



ストローク最大長 = 160

ドライ ブラシ (設定可能範囲は 0-100): パラメーター値を上げることにより、ドライ ブラシ画法をまねることができます。ストロークの滑らかさは失われ、ブラシの質感が強調されます。一方、パラメーター値を下げることでより滑らかで流れるようなストロークになります。



ドライ ブラシ = 15

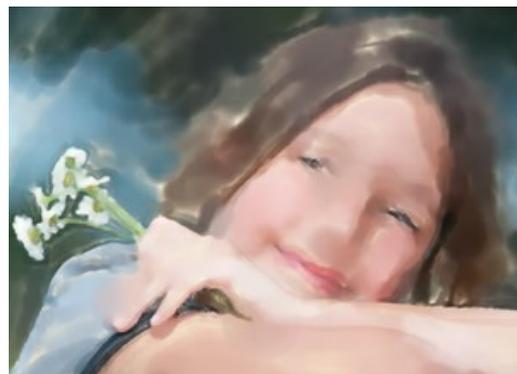


ドライ ブラシ = 85

簡素化 (設定可能範囲は 1-100): イメージをどの程度シンプルにするかを調整するためのパラメーターです。値が高いほどディテールがぼかされ、柔らかいタッチのイメージになります。



簡素化 = 5



簡素化 = 50

ストロークの濃さ (設定可能範囲は 0-100): ブラシ ストロークに使用される絵の具の量 (濃さ) を調整するためのパラメーターです。低い値では、より透明に近く、明るいストロークになります。



ストロークの濃さ = 20



ストロークの濃さ = 80

ばらつき (設定可能範囲は 0-100): ストロークの方向と幅をランダムに変更します。

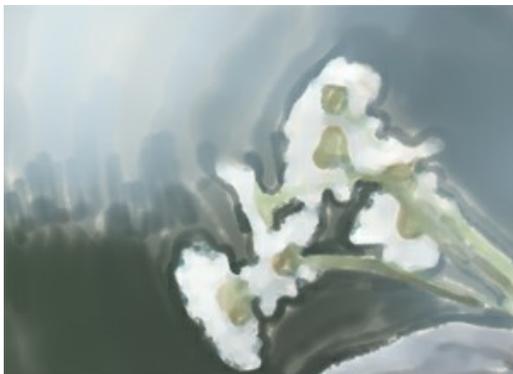


ばらつき = 10



ばらつき = 90

彩度 (設定可能範囲は -100 から 100): このパラメーターは、ブラシ ストロークの点の色の強度を設定します。



彩度 = 10



彩度 = 90

エッジの滑らかさ (設定可能範囲は 0-100): ストローク エッジの柔らかさ (滑らかさ) を調整するパラメーターです。高い値の場合、ウェット オン ウェット画法をまねて、ストローク間の遷移を滑らかにしてエッジ部分をぼかします。低い値では、エッジ部分はザラザラとしており、より鮮明になります。



滑らかなエッジ = 20



滑らかなエッジ = 80

明るさ (設定可能範囲は 0-100): イメージを明るくするためのパラメーターです。暗い写真に使用すると、色をより透明で明るくすることができます。



明るさ変更せず



明るさ = 70

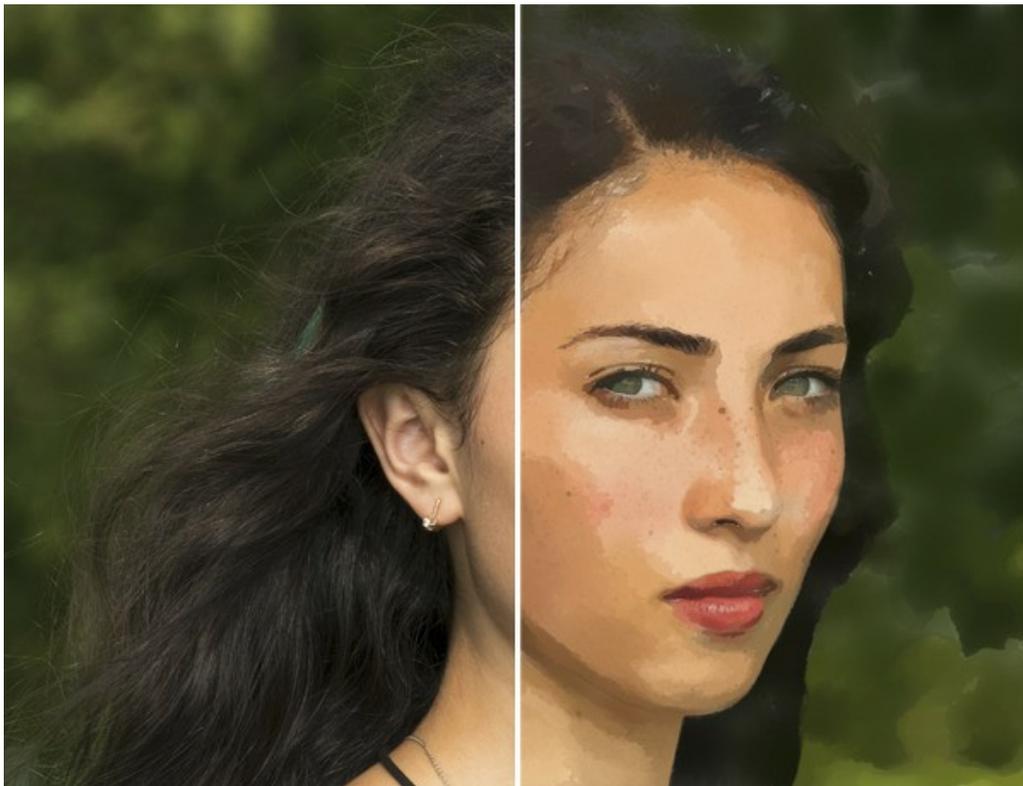
乱数開始値: これはフレーム上のストロークの分布を定義する、乱数生成の基となる値です。0-9999 の任意の値を指定できます。それぞれの値は特定のストロークの分布に対応しています (その他すべてのパラメーターは変化しません)。



ストロークのランダムな配置

水彩 (輪郭)

水彩 (輪郭) 技法は、ウェットオンドライ技法と似ていて、複数の描画方法が使用されます。オブジェクトのエッジ部分を強調するために細い線が追加され、水彩画と鉛筆画を組み合わせたような効果が得られます。この技法を使用した場合、色がより鮮やかかつ鮮明になり、グワッシュ画やポスターアートに似た結果となるかもしれません。



写真を水彩画に変換
水彩 (輪郭)

効果パラメーター:

[イメージ]グループ

簡素化: イメージの簡素化レベル。値が高いほど、多くのディテールが失われます。



簡素化 = 0



簡素化 = 10

均一性: 描画領域のムラ、色の混じり合い、ぼかし等を指定します。



均一性 = 1



均一性 = 80

密度: ブラシのストローク数やレイヤーの数を指定します。



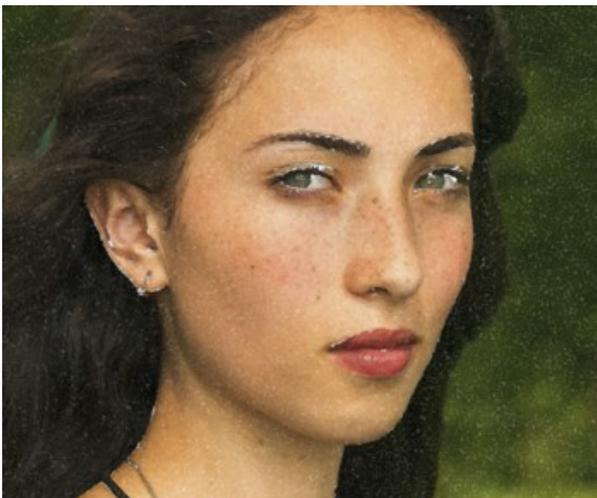
密度 = 0



密度 = 70

[ストローク]グループ

サイズ: ブラシストロークの大きさを指定します。



サイズ = 1



サイズ = 15

明るさ: ストロークに使用する絵の具の量と強度を指定します。低い値では、背景が透けて見えます。

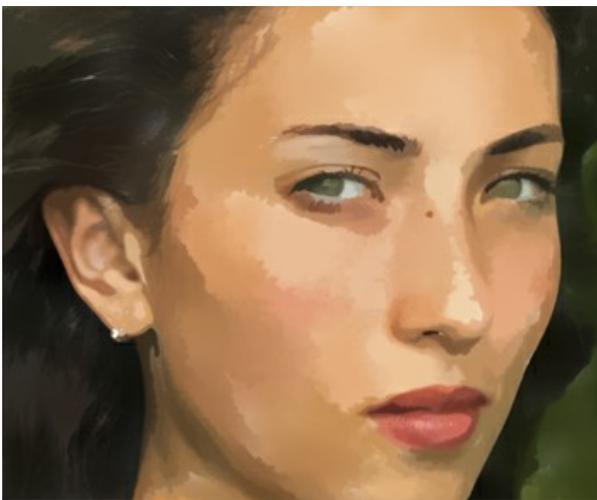


明るさ = 10

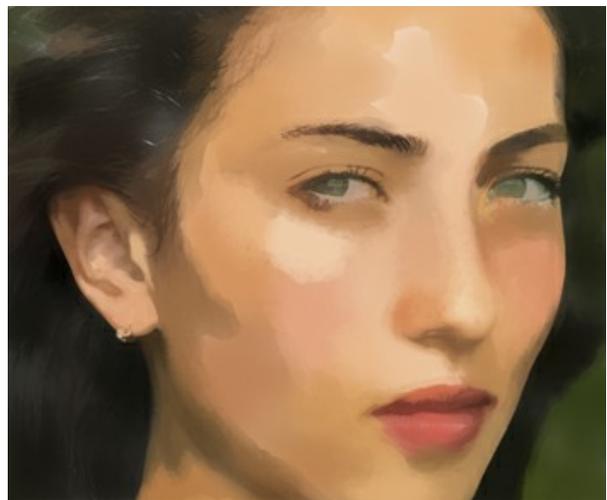


明るさ = 60

ぼかし: ブラシストロークの広がりやにじみの度合いを指定します。



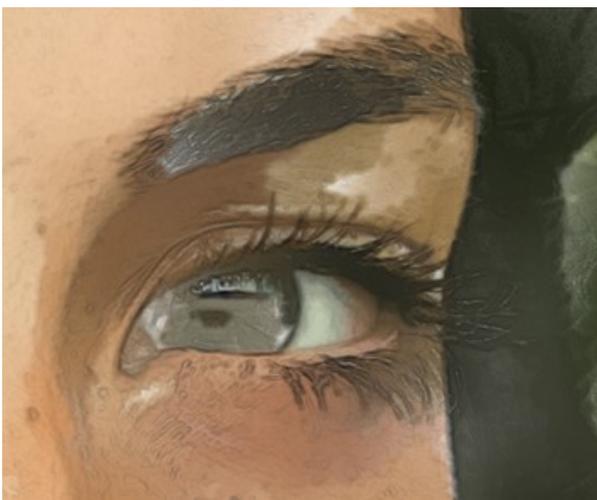
ぼかし = 2



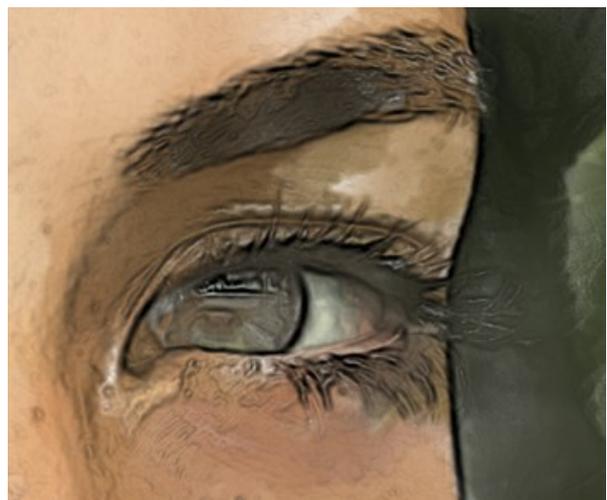
ぼかし = 16

[輪郭]グループ

太さ: 輪郭線の太さ (幅) を指定します。

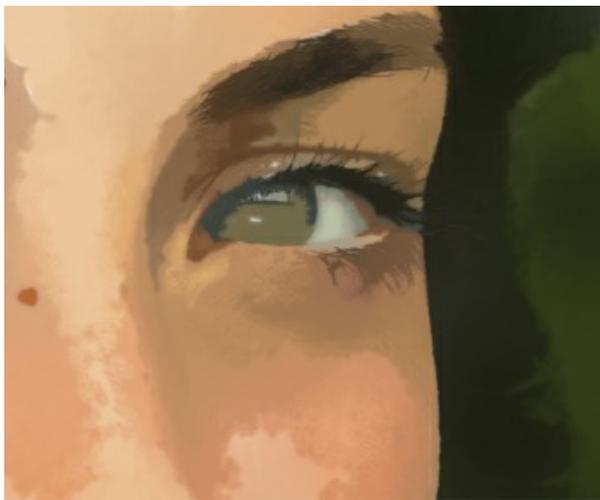


太さ = 15

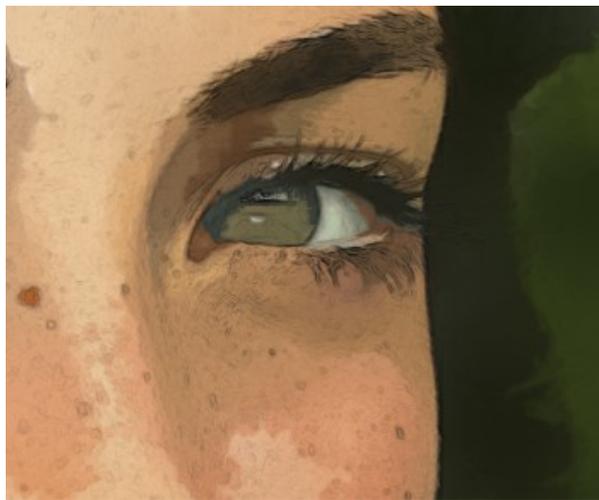


太さ = 30

感度: 輪郭線の検出感度を指定します。



感度 = 1



感度 = 20

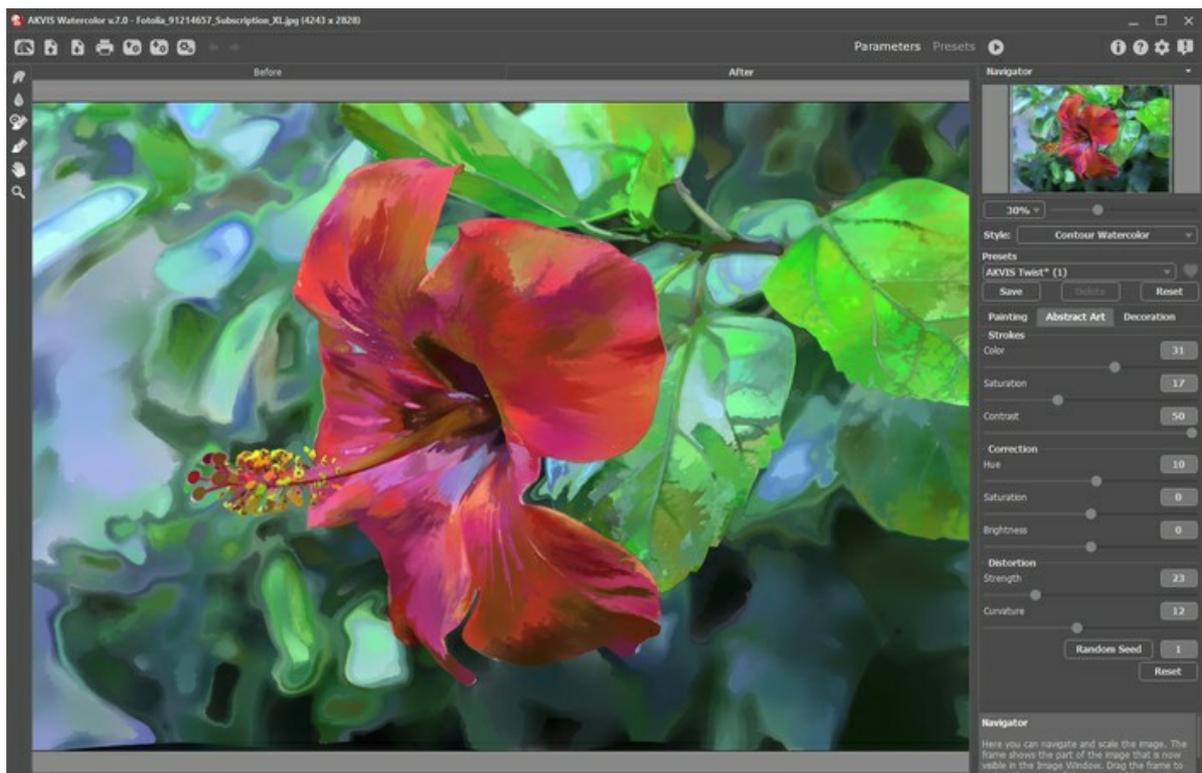
さらに、水彩ブラシのストロークの分布に関する効果を適用できます。

乱数開始値 (設定可能範囲は 0-9999): ブラシストロークの分布に関する要素です。

抽象芸術

[抽象芸術]タブを使用すると、オブジェクトの形や色を変更し、独特かつ素晴らしい印象を与えることができます。

注意: この機能は Home Deluxe および Business ライセンスでのみ利用可能です。



[抽象芸術]タブ

パラメーターは、機能別に以下の3つにグループ分けされています。

[ストローク]グループこのグループ内のパラメーターによって、処理画像のストロークの色を変更します。

色 (設定可能範囲は 0-50): 値が高いほど、より多くのストロークの色が変更され、画像により多くの色が使用されることになります。



色 = 0



色 = 40

彩度 (設定可能範囲は 0-50): このパラメーターは、ランダムストロークの明るさを高めます。デフォルト値は 0 に設定されています。



彩度 = 5



彩度 = 50

コントラスト (設定可能範囲は 0-50): このパラメーターは、ランダムストロークを明るく/暗くします。



コントラスト = 10



コントラスト = 50

[修正]グループこのパラメーターは、元の画像の色を変更します。

色相 (設定可能範囲は -180 から 180): このパラメーターは、指定された色相の値にすべての色を変更します。



色相 = -50



色相 = 50

彩度 (設定可能範囲は -100 から100): 画像をより明るい色を使って色を調整するためのパラメーターです。色の強度 (明暗) を中間色のグレーから最も明るい色まで変更することができます。



彩度 = -65



彩度 = 65

明るさ (設定可能範囲は -100 から100): 画像の明るさに影響します。高い値では画像が明るくなり、低い値では画像が暗くなります。



明るさ = -50



明るさ = 50

[変形]グループこのパラメーターは、オブジェクトの形や比率を変更します。

強度 (設定可能範囲は 0-100): 画像内のオブジェクトをどの程度移動したり、引き伸ばしたりするかを調整するためのパラメーターです。値が 0 の場合、オブジェクトは変形されません。



強度 = 10



強度 = 50

湾曲 (設定可能範囲は 2-25): 境界線の曲がり具合を調整するパラメーターです。



湾曲 = 5



湾曲 = 20

乱数開始値 (設定可能範囲は 1-9999): 形の変形を定義する乱数生成の基となる値で、ランダムにストロークを結合させます。



ランダムな変形

AKVIS WATERCOLOR のツール

AKVIS Watercolor では、[処理前]または[処理後] タブ、どちらがアクティブかによって表示されるツールは異なります。



[処理前]タブ選択時のツールバー [処理後]タブ選択時のツールバー

プログラム内のツールは、**事前処理ツール** ([処理前]タブ)、**後処理ツール** ([処理後]タブ)、**その他のツール** ([処理前]と[処理後] タブ) にグループ分けされています。

ヒント:

← と → のボタンを使用して、以下のツールの操作のやり直し/取り消し ができます。 、、、、、、、 です。

事前処理ツール ([処理前]タブ):

クイックプレビュー  : プレビュー ウィンドウのオン/オフ (表示/非表示) を切り替えます。プレビュー ウィンドウとは、点線で囲われた四角の枠で、[ペイント]や[装飾]タブで加えられた変更を表示します。

マウスクリックまたはダブルクリックによって、プレビュー ウィンドウの位置を自由に動かすことができます。これにより、効果のプレビューをイメージの様々な部分で確認することができます。自動変換の結果と元のイメージを比較するには、プレビュー ウィンドウでマウスをクリックしたままにします。



プレビュー ウィンドウ

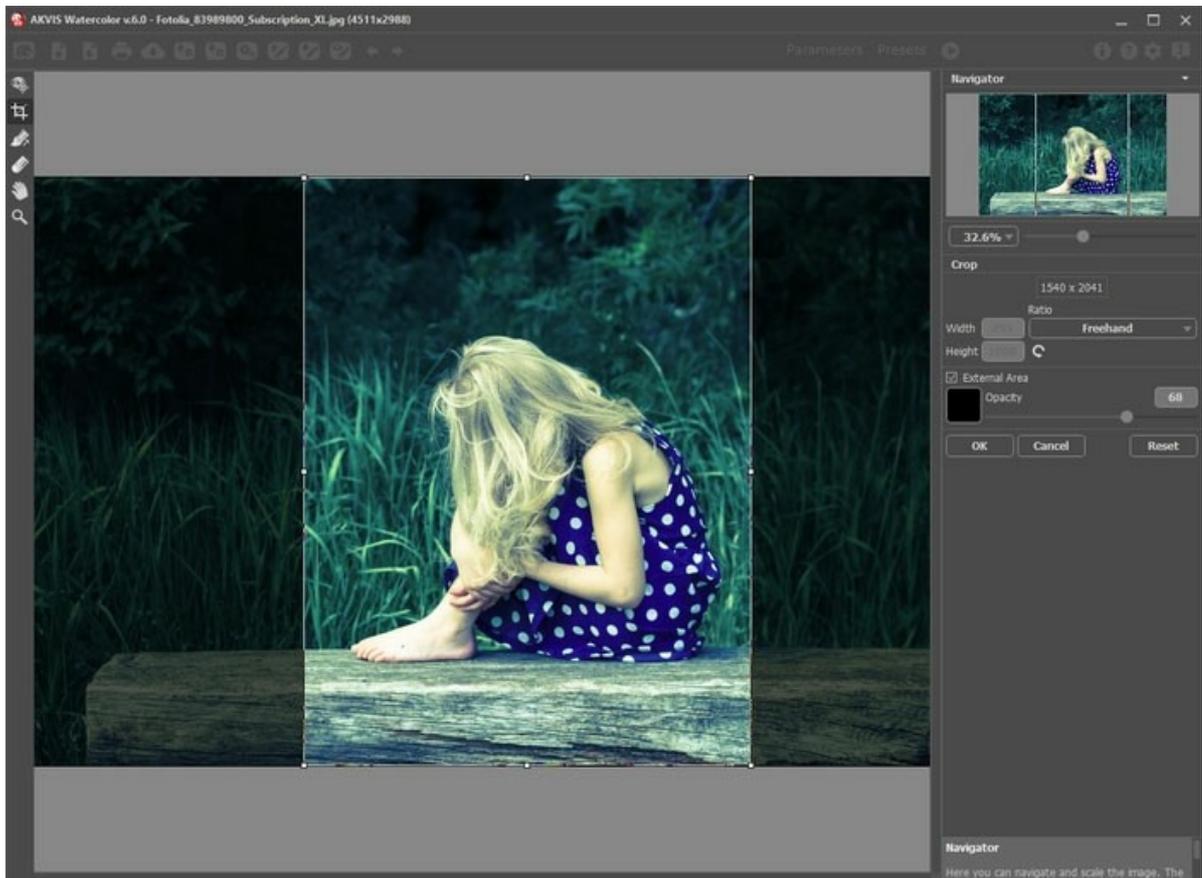
プレビュー ウィンドウのサイズの変更は、プログラムの **環境設定**  で行うことができます。

切り取りツール  (スタンドアロン版のみ) を使って、イメージ内の不要な部分を切り取ることができます。このツールは、イメージの構成を変更したい場合、曲がった写真を修整したり、縦長の写真を横長にしたり、その逆を行ったりするのに便利なツールです。

注意: このツールは、元のイメージに適用されます!水彩画効果の適用前に使用してください。

切り取りは、フレームの枠や角をドラッグして行うことができます。

結果を適用して、フレーム外の部分を切り取るには、[OK]をクリックするか、**Enter** キーを押します。操作をキャンセルして終了するには、[キャンセル]をクリックするか、**Esc** キーを使用します。ツールを有効にしたまま、元の状態に戻すには、[リセット]ボタンを押します。



イメージの切り取り

切り取りオプションを調整します。

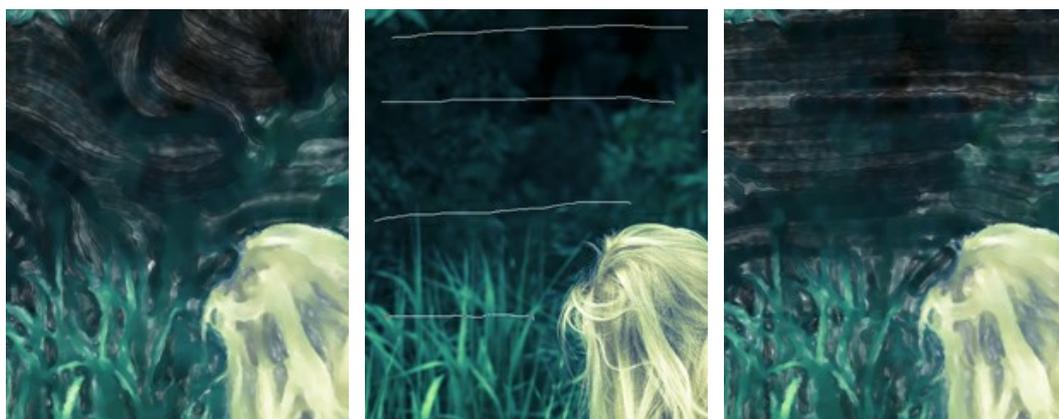
切り取り枠の大きさは、[比率]ドロップダウン リストから選択するか、ユーザー定義で比率を指定します。

[除外領域]チェックボックスがオンの場合、外側の部分の色と不透明度を変更できます。

ストロークの方向ツール  を使うと、ストロークを自由にコントロールできるようになります。この技術により、人間の髪の毛の方向、全体の模様やテキストの方向が正しく修正され、本物の水彩画により近い作品を作り出すことができます。

注意: この機能は、**水彩 (クラシック)** 技法でのみ利用でき **Home Deluxe版** または **Business版** のライセンスが必要です。

このツールを使って、**誘導ライン**を追加すると、プログラムはその方向に従って処理をします。プレビューウィンドウ内に変更が表示されます。画像全体の処理を再開するには、 をクリックします。



自動変換時のブラシストローク

誘導ライン

方向の変更

ヒント: このツールで作成した誘導ラインの**保存** 、**読み込み**  もできます。

読み込んだ誘導ラインは、自動的にイメージのサイズに適用されます。

消しゴム  は、**ストローク方向** ツール  で描いた誘導ラインの編集と削除を行います。消しゴムのサイズは、イメージを右クリックして変更できます。

後処理ツール (Deluxe/Business版の **【処理後】** タブ)

注意: 、、、 の各ツールは、**Home Deluxe/Business** ライセンスの **【処理後】** タブでのみ利用できます。**最終処理段階**で使用しま

す。処理を再実行した場合 、後処理ツールを使用した編集が失われる場合があります

各ツールのオプションは、イメージを右クリックすると表示されるポップアップメニューに表示されます。

指先ツール  は、イメージ内の色の混合や不揃いな部分の除去に使用します。

ツールのパラメーター:

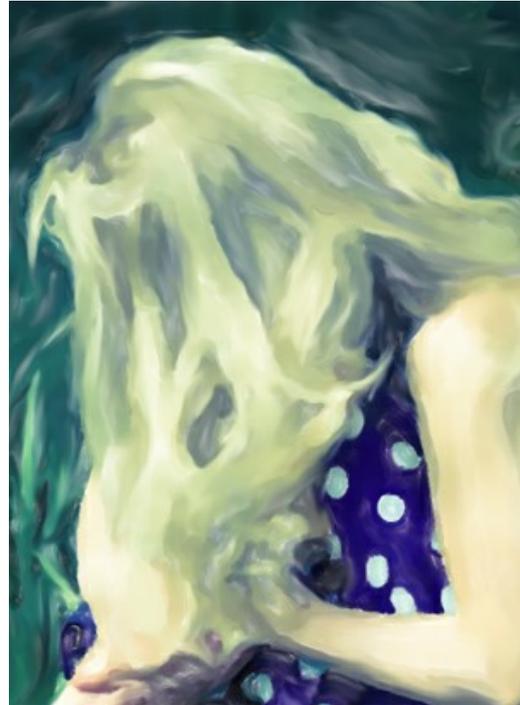
サイズ (設定可能範囲は 1-300): ツールの直径をピクセルで指定します。

硬さ (設定可能範囲は 0-100): ブラシエッジ (背景との境界) 部分のぼかしの程度を指定します。値が高いほど境界線は鮮明になります。

強度 (設定可能範囲は 1-100): ストロークで塗りつけるペンキの量を指定します。値が高いほど、色は長くこすり付けられて伸びた状態になります。



水彩画技法を使用した効果



指先ツールの使用

ぼかし : このツールは、隣接するピクセル間のカラーコントラストを下げることで、ぼかし効果を作成します。

ツールのパラメーター:

サイズ (設定可能範囲は 1-200): ツールの直径をピクセルで指定します。

硬さ (設定可能範囲は 0-100): ブラシエッジ (背景との境界) 部分のぼかしの程度を指定します。値が高いほど境界線は鮮明になります。

範囲 (設定可能範囲は 0.1-10.0): パラメーターの値が大きいくほど、効果は強くなります。



水彩画技法を使用した効果



ぼかしツールを使用

履歴ブラシ  は、水彩画効果を弱め、画像を元の状態にレストアします。ツールのモードを選択できます。すべての変更を編集するか、ツールの効果のみを維持するかを選びます。

ツールのパラメーター:

[元のイメージにレストア]チェックボックス: このチェックボックスがオンの場合、水彩画効果や後処理ツールの効果を弱めます。チェックボックスがオフの場合は、これらのブラシの編集部分にのみ適用 (レストア) されます。

サイズ (設定可能範囲は 1-1000): ブラシで引くラインの幅を指定します。

硬さ (設定可能範囲は 0-100): ツールのエッジ部分の鮮明度を調整します。値が低いほど、ツールのエッジ部分はぼかしがかかったものになります。値が 100% の場合、ブラシのエッジと背景の境界がくっきり分かりますが、もっと低い値の場合は境界部分の色の移行がよりスムーズになり、ぼかしが強くなります。

強度 (設定可能範囲は 1-100): オリジナルの状態へのレストア度合いを指定します。低い値の場合はレストアがあまり行われず、適用した効果と馴染みますが、100% に近い値の場合はオリジナルの画像に完全にレストアされます。



水彩画効果



履歴ブラシの使用

水彩ブラシ  : 透き通った半透明な水彩のストロークを描画できます。

サイズ (設定可能範囲は 5-1000): ツールを使用して描く線の幅の最大値を指定します。

硬さ (設定可能範囲は 0-100): 外側のエッジの鮮明度 (硬さ) を設定します。値が高いほどエッジ部分が鮮明になります。

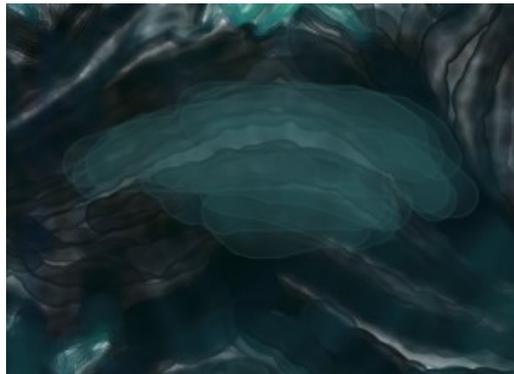


硬さ = 10

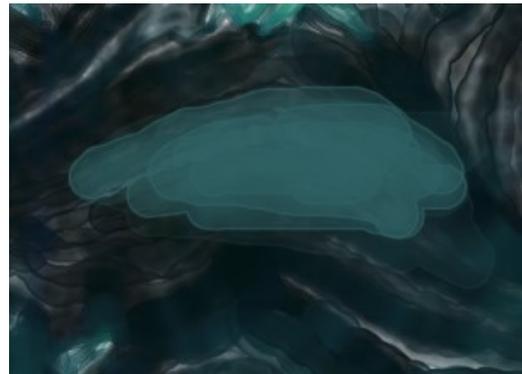


硬さ = 90

強度 (設定可能範囲は 1-100): ストロークの不透明度を設定します。

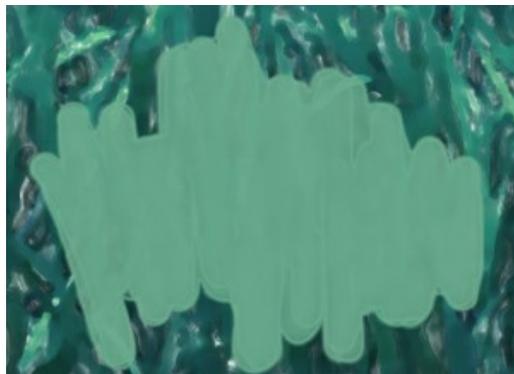


強度 = 35

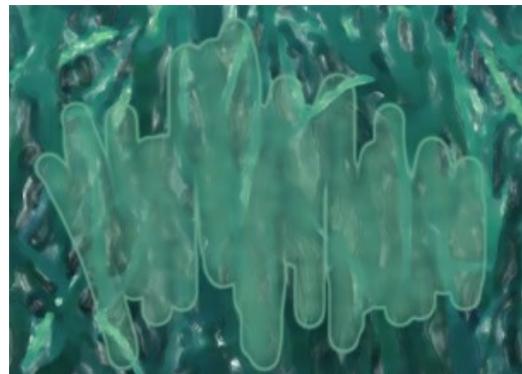


強度 = 90

ストロークの濃さ (設定可能範囲が 0-100): ストロークの絵の具に含まれる水の量を指定します。値が高いほど、ストロークの内側が透明になり、エッジ部分が際立ちます。



ストロークの濃さ = 35



ストロークの濃さ = 85

色: スポイト ツールを有効にすると、画像内から色を選択できます。さらに、**I** キーも使用できます。

色リング内にある隣接する色からも選択できます。



スポイトツール

1. 中心が選択した部分の色を示すグラデーションが表示されます。左側は、現在の色に 30% 黒を加えたもので、右側は、30% 白を加えたものです。
2. 今現在選択している色を示しています。
3. カーソルがある地点の色のピクセルを示しています。
4. 周囲のピクセルの色を示しています。
5. 選択地点の周囲を平均した色 (時計回りに 3 x 3、5x5、11x11、31x31、51x51、101x101ピクセル四方) を示しています。

より厳密に色を選択できるようになります。希望の色が見つからない場合、色リング内にある隣接する色を選択するには、**Ctrl** キーを使用します。

四角いボタンをダブルクリックし、[色の選択]ダイアログボックスから色を選択します。

その他のツール (両方のタブで利用可能、すべてのライセンス対応):

手のひらツール  は、画像を動かしてイメージウィンドウに表示されていない部分を表示できます。実際にツールを使用するには、画像上でクリックしたままドラッグして表示画像を動かします。この操作に対するホットキーは、**H** キーです。

ツールバー上にあるツールのアイコン  をダブルクリックすると、イメージはウィンドウに合わせたサイズで表示されます。

ズーム ツール  を使って画像の拡大/縮小を行います。ズームイン（拡大）するには、画像内をクリックします。クリックしながら **Alt** キーも押すと、ズームアウトします。この操作に対するホットキーは、**Z** キーです。

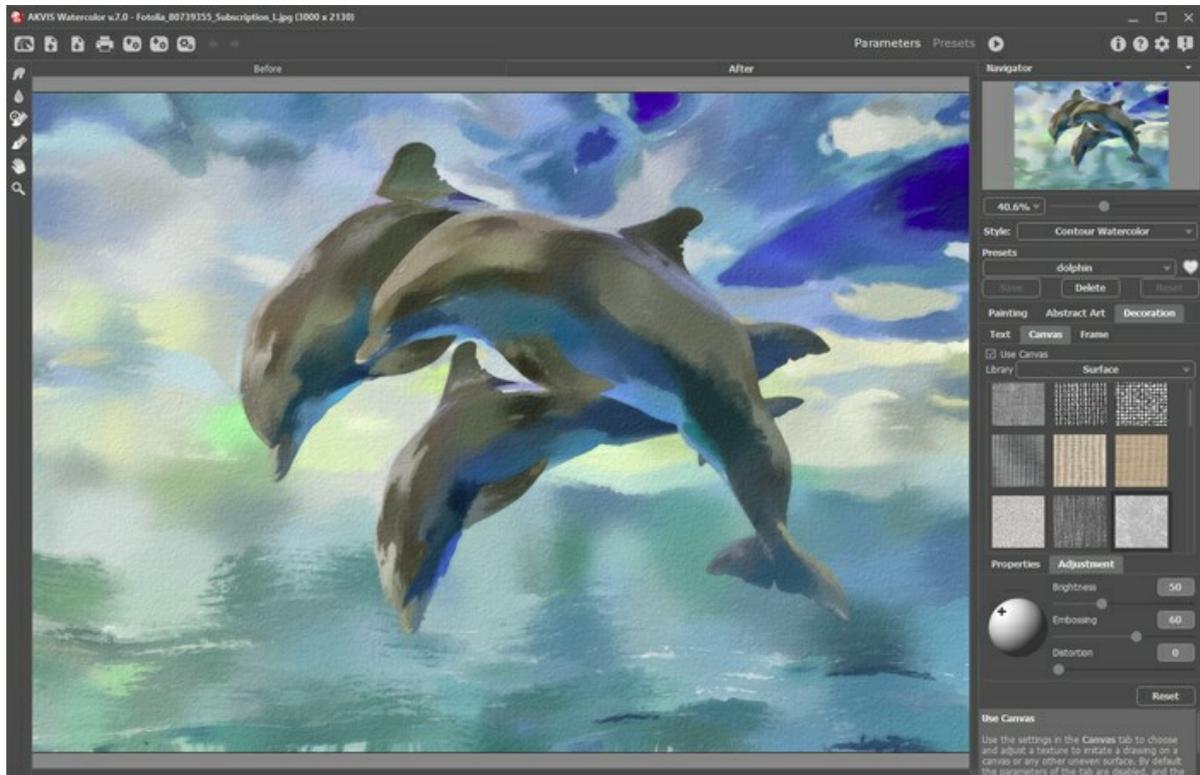
ツールのアイコン  をダブルクリックすると、イメージが 100% の倍率（実際の大きさ）で表示されます。

キャンバスを使用

AKVIS Watercolor は、写真を鮮やかで実際の水彩画のように変換します。水彩画にキャンバスを適用すると、より鮮明で本物の水彩画と見違えるほどの結果が得られるでしょう。水彩画用紙、多孔性の吸い取り紙、クラシックなキャンバスだけでなく、MDF ボード、レンガの壁など型にはまらない様々な材料をキャンバスとして使用できます。

テクスチャの選択と変更を行うには、[装飾]グループの [キャンバス]タブに切り替えます。[キャンバスの使用]チェックボックスをオンにしてください。

ヒント: 装飾効果の適用順を変更するには、[キャンバス]/[フレーム]/[テキスト]の各タブをドラッグして入れ替えます。



キャンバスを使用した水彩画

テクスチャを選択する場合は、[ライブラリ] > [表面]から選択するか、手持ちのサンプルを[ライブラリ] > [ユーザー定義...]から読み込みます。

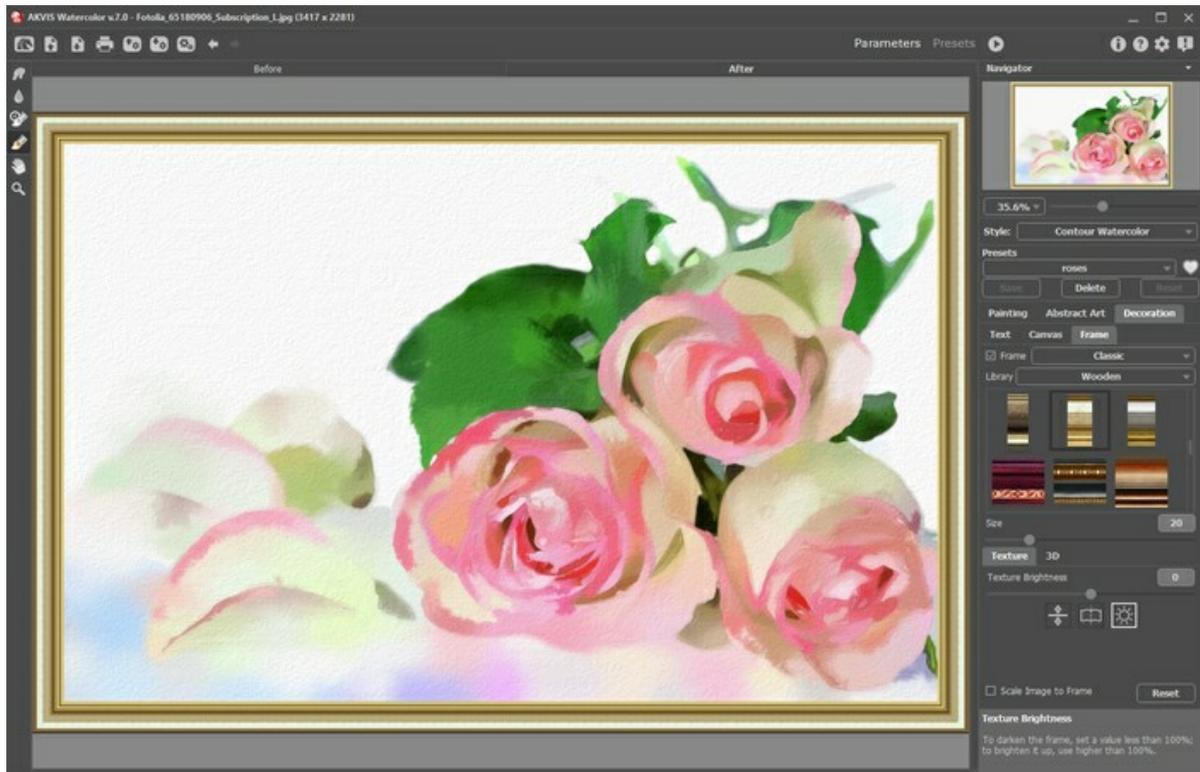
[キャンバス設定を調整](#)

フレームを追加

AKVIS Watercolor では、水彩画にフレームを追加して、本物の芸術作品のようにできます。

[装飾]グループの[フレーム]タブに切り替え、[フレーム]チェックボックスをオンにし、希望のフレームとテクスチャを選択します。

ヒント: 装飾効果の適用順を変更するには、[キャンバス]/[フレーム]/[テキスト]の各タブをドラッグして入れ替えます。



フレームの適用

適用できるフレームの種類:

- クラシック
- パターン
- ストローク
- ビネット
- 台紙

テキストやウォーターマークを追加

AKVIS Watercolor では、完成した作品にサインやウォーターマークを追加できます。

テキストを挿入するには、[装飾] > [テキスト]の順に選択します。初期設定ではタブ内のパラメーターが無効になっています。[テキスト]または[イメージ]のいずれかのモードを有効にします。

ヒント: 装飾効果の適用順を変更するには、[キャンバス]/[フレーム]/[テキスト]の各タブをドラッグして入れ替えます。



作品にテキスト挿入

画像にどんなテキストでも追加できます。

テキスト/ウォーターマーク設定を調整

水彩画効果プリセット

AKVIS Watercolor には、すぐに使用可能な**プリセット**が数多く含まれており、専門知識がなくても、水彩画技法を用いた製作を行う上で役に立つでしょう。

ドロップダウン リスト内のプリセット名の上にカーソルを移動させると、リストの横に小さなウィンドウで適用した場合のサンプルが表示されます。



プリセットには、すべてのタブ (**スケッチ/抽象芸術/装飾**) の設定が含まれます。

* がついている AKVIS プリセット (例えば *AKVIS Blossom**) は、Deluxe/Business版でのみ利用可能な[抽象芸術]タブのパラメーターを使用しています。Home 版を使用しているユーザーが、これらのプリセットを選択した場合は、[スケッチ]タブと[装飾]タブの設定のみが適用されます。

プリセットを作成するには、設定を調整し、[プリセット]欄にプリセット名を入力し、[保存]ボタンをクリックします。

選択したプリセットをデフォルト設定に戻すには、[リセット]をクリックします。

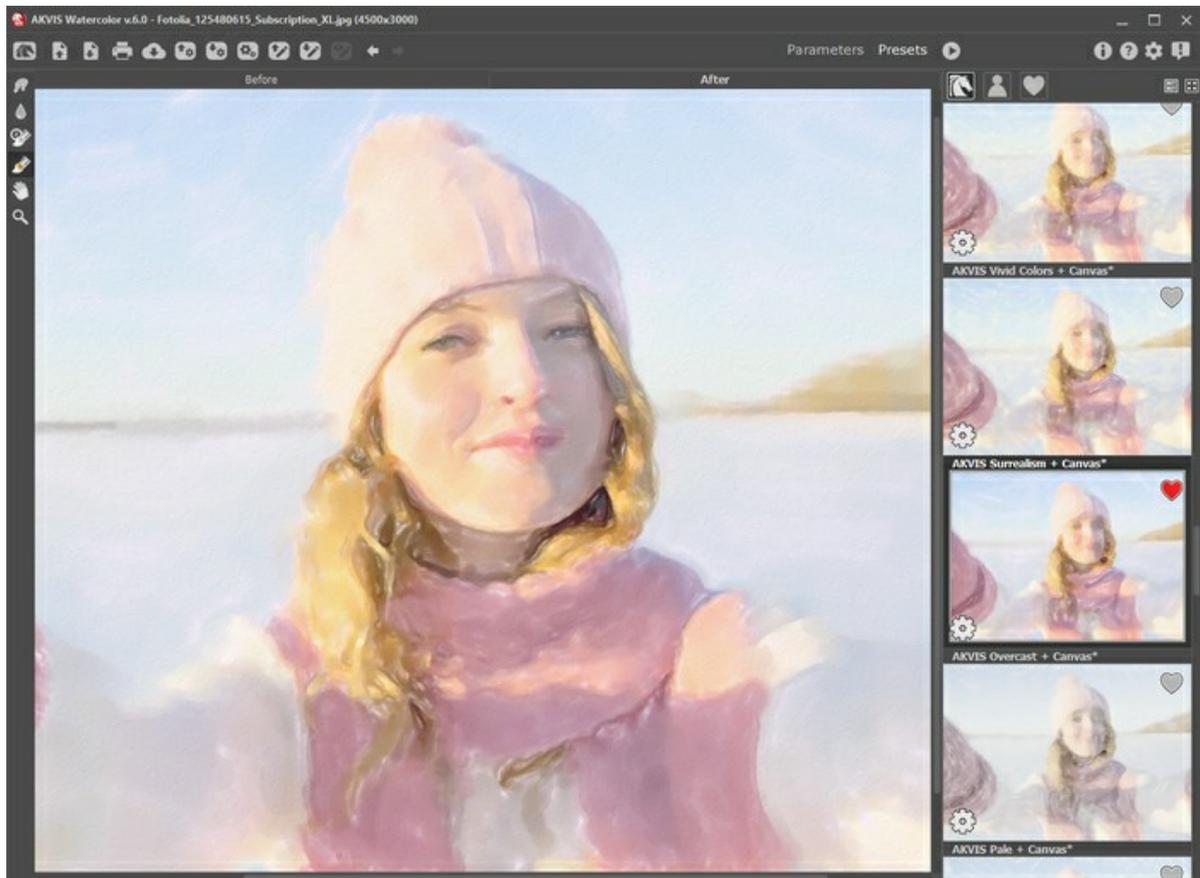
ユーザー プリセットを削除するには、一覧から目的のプリセットを選択し、[削除]をクリックします。

AKVIS ビルトイン プリセットは削除できません。

プリセット名 フィールドの横には、ハートのアイコンが表示されます。このアイコンをクリックすると、選択したプリセットを[お気に入り]に追加したり、[お気に入り]から削除したりできます。

プリセット ギャラリー

トップパネルの[プリセット]をクリックすると、リアルタイムの大まかなプレビュー表示を含むプリセットの視覚表示モードに切り替えることができます。



プリセット ギャラリー

プリセットの一覧がアルファベット順 (AKVIS プリセット) または作成日順 (ユーザー プリセット) に表示されます。プログラムにイメージを読み込むと、プリセット サムネイルが生成されます。

サムネイルをクリックしてプリセットを選択します。サムネイルをダブルクリックすると、イメージ全体への処理を開始します。

ユーザー プリセットのプリセット名をダブルクリックすると、名前を変更できます。AKVIS ビルトイン プリセットの名前は変更できません。

次のボタンで、プリセットの表示方法を変更できます。

-  - **AKVIS プリセット**を表示
-  - **ユーザー プリセット**を表示
-  - **お気に入り**に追加されているプリセットを表示

プリセット サムネイルの配置は二通りあります。

-  - 縦一列の一覧表示
-  - プログラム領域全体にサムネイル表示

プリセットのコントロール ボタンは、コンテキスト メニューのコマンドとしても表示されます。

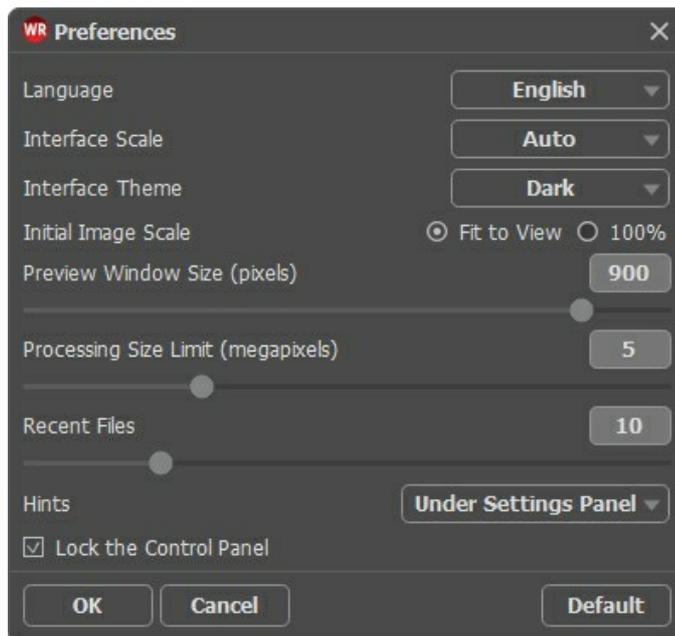
-  **お気に入り**に追加 /  **お気に入り**から削除
-  **プリセットの名前を変更** (ユーザー プリセットのみ)
-  **上に移動** (ユーザー プリセットのみ)
-  **下に移動** (ユーザー プリセットのみ)
-  **プリセットを削除** (ユーザー プリセットのみ)
-  **パラメーター**を表示

プリセットを .watercolor ファイルに保存するには、 を使用します。ファイルからプリセットを読み込みには、 を使用します。

ユーザー プリセットのインポート/エクスポート方法の詳細はこちらを参照ください。

プログラムの環境設定

 [環境設定]ダイアログボックスを開きます。



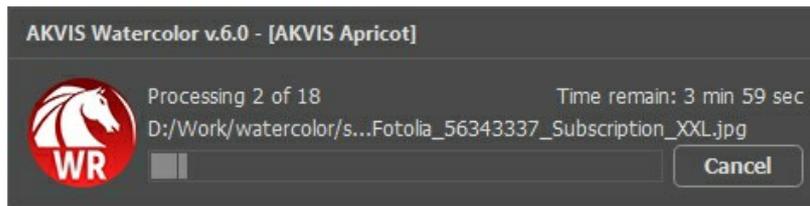
- **言語:** ドロップ ダウンメニューから目的の言語を選択して変更します。
- **インターフェイスの拡大/縮小:** インターフェイス要素のサイズを選択します。[自動]に設定されている場合、ワークスペースは、自動的に画面の解像度に合わせて拡大/縮小されます。
- **インターフェイス テーマ:** インターフェイスのテーマを選択します。明るい または 暗い の 2種類のテーマがあります。
- **初期の比率:** このパラメーターは、読み込んだイメージをメイン ウィンドウで表示 (拡大/縮小) する方法を設定します。
 - **画面にあわせる:** イメージ全体が表示されるように、拡大/縮小率が調整されます。
 - **100%:** 実際のサイズが使用され、イメージの拡大/縮小は行われません。
- **プレビューウィンドウサイズ:** **クイックプレビュー** ウィンドウのサイズは自由に設定できます。200x200ピクセルから1,000x1,000ピクセルの間で設定できます。
- **処理サイズ制限:** イメージの処理は非常に時間のかかる操作です。このパラメーターは、処理するイメージのサイズを一時的に減らすことによって、イメージの処理速度を速めることができます。ファイルサイズ (メガピクセル単位) が設定値以下の場合、イメージは通常通りの処理が行われます。読み込んだファイルサイズが設定値より大きい場合、イメージのサイズを一時的に減らして処理を行った後に、元のサイズに戻します。
- **最近使ったファイル** (スタンドアロン版のみ): 最近使ったファイルの表示数を指定します。  をクリックすると、時間でソートされた使用ファイルの一覧が表示されます。(最大数: 30ファイル)
- **ヒント:** ヒントの表示方法に関する設定は以下の通りです。
 - **イメージウィンドウの下**
 - **設定パネルの下**
 - **非表示**
- **[コントロールパネルを常に表示]チェックボックス:** トップパネルの表示/非表示の切り替えができなくなります。つまり、このチェックボックスがオンの場合、パネルは常に表示されます。

[環境設定]ウィンドウでの変更内容を適用するには、[OK]をクリックします。

既定値に戻す場合は、[既定値]をクリックします。

バッチ処理

AKVIS Watercolor がサポートしている**バッチ処理**機能は、同じ設定で一連の（複数の）画像を自動的に変換することができ、時間と労力の節約になります。バッチ処理は、パンフレットに同じスタイルのイラストをたくさん作成する場合やビデオのすべてのフレームを処理する場合に便利です。



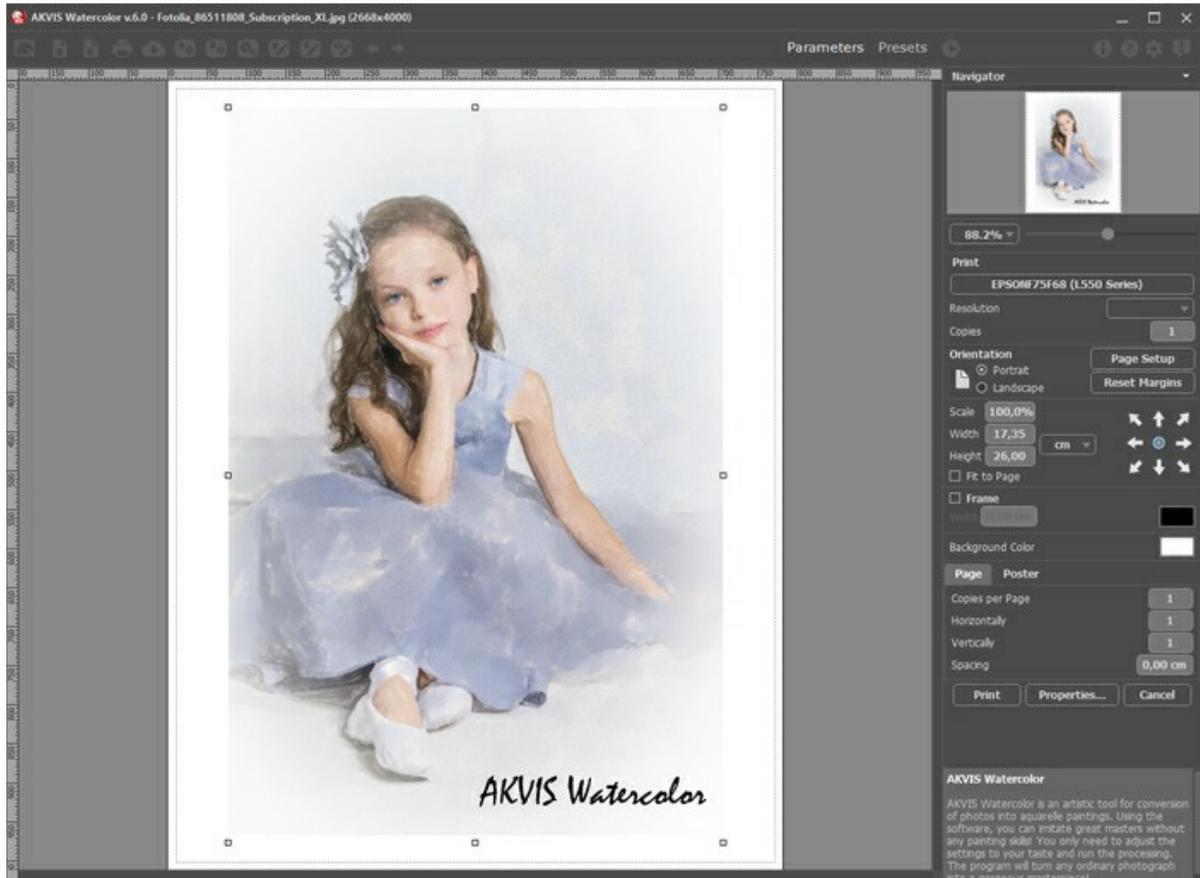
これまでに、バッチ処理機能を使ったことがないとしても、操作方法は簡単に覚えられます。

AKVIS Watercolor のスタンドアロン版をご利用の場合は、[こちらの手順](#)をご覧ください。

Watercolor のプラグイン版を Photoshop や他の画像エディターで使用する場合、[こちらのチュートリアル](#)をご覧ください。

印刷

AKVIS Watercolor のスタンドアロン版では、イメージを印刷することもできます。🖨️を押すと【印刷】オプションが表示されます。



AKVIS Watercolor での印刷オプション

設定パネルのパラメーターを調整します。

リストからプリンターを選択し、希望の解像度と部数を指定します。

【印刷の向き】では、紙の方向を設定します。【縦】または【横】から選択します。

【ページ設定】をクリックして表示されるダイアログボックスでは、用紙サイズ、印刷の向き、余白などの設定を行うことができます。

【余白のリセット】をクリックすると、ページのマージンをデフォルトの設定値に戻すことができます。

イメージの印刷サイズを変更するには、【比率】、【幅】、【高さ】、【ページに合わせる】等のパラメーターを調整します。これらは印刷にのみ影響するものであり、イメージ自体には影響しません。印刷するイメージのサイズ変更を行うには、【比率】に値を直接入力するか、【幅】と【高さ】に値を入力します。

イメージサイズを用紙に合わせる場合は、【ページに合わせる】チェックボックスをオンにします。

ページ上のイメージをマウスで動かしたり、矢印キーを使って揃えたりできます。

【枠】を有効にし、枠の幅や色を指定できます。

色パレットをクリックして、【背景色】を変更できます。

【ページ】タブでは、1枚にイメージを複数印刷するための設定を行うことができます。



- **[割り付け]**: 1ページに画像を何枚印刷するかを指定します。
- **[水平方向]**と**[垂直方向]**: これらの数は、それぞれイメージの行と列の数を意味します。
- **[間隔]**: イメージ同士の間隔を指定します。

[ポスター]タブでは、大きな画像を複数のページに分け、それぞれの結合部分とともに印刷することができます。



ポスター印刷

- **[ページ]**: チェックボックスがオンの場合、イメージを何枚に分けて印刷するかを指定できます。この設定に応じて、イメージの拡大率が調整されます。チェックボックスがオフの場合、プログラムが実際のサイズに応じて、自動的に最適枚数を選択してくれます。
- **[のりしろ]**: チェックボックスがオンの場合、ページの結合部分ののりしろの幅を指定できます。のりしろはページの右側と下部に追加されます。
- **[切り取り線]**: チェックボックスがオンの場合、余白に切り取り線を表示させることができます。
- **[ページ番号の表示]**: チェックボックスがオンの場合、行と列の番号が余白部分に表示されます。

指定したパラメーターでイメージを印刷するには、**[印刷]**ボタンをクリックします。
変更をキャンセルし、ダイアログボックスを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。

[プロパティ...]ボタンをクリックすると、システム ダイアログボックスが表示され、詳細な設定を行ったり、印刷を行ったりできます。

繊細な水彩画: 素晴らしい効果の融合 (水彩 + スケッチ)

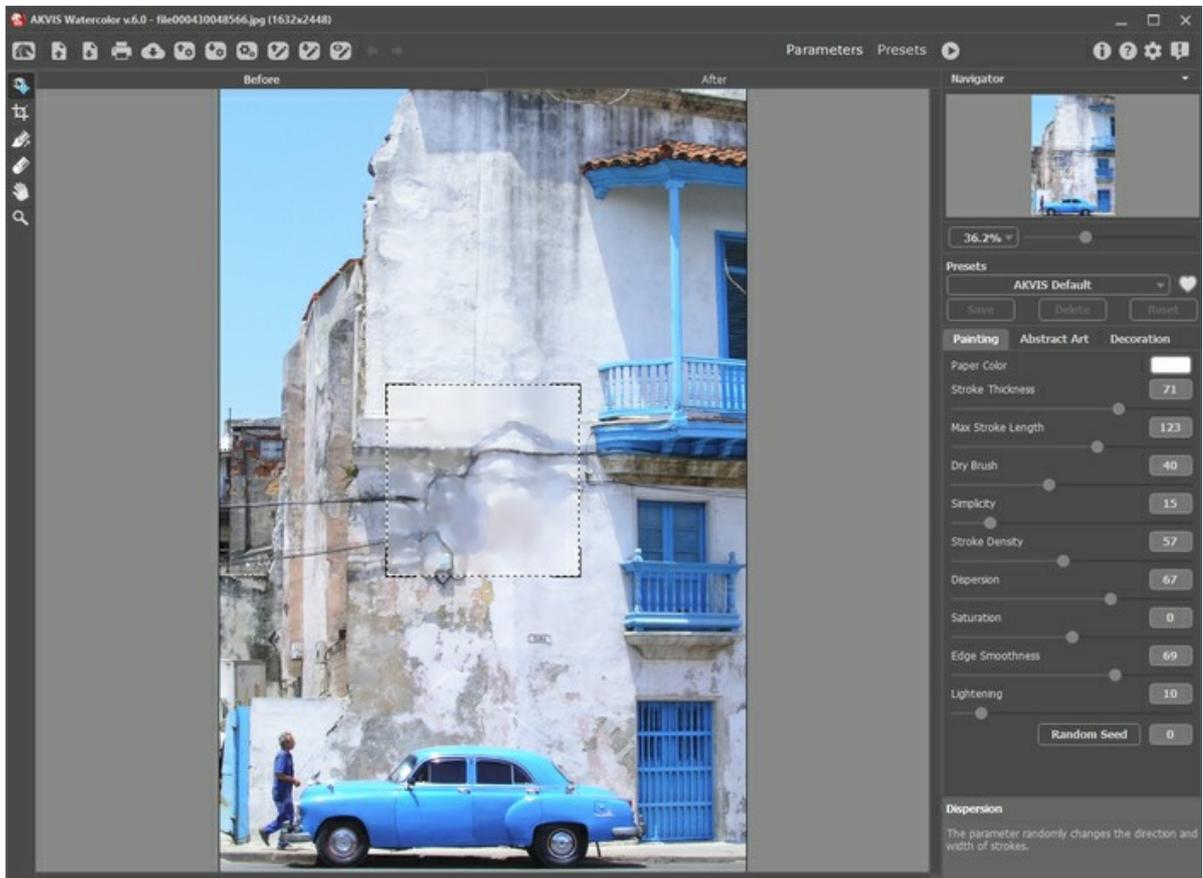
このチュートリアル(操作例)の作成者は、Greg Collins さんです。

AKVIS Watercolor は、他のアーティスティックな効果と共に使用することにより、一層絵画的な作品を作り出すことができます。このチュートリアルは、AKVIS Watercolor、AKVIS Sketch、AliveColors グラフィックエディターを使用した素晴らしい水彩画の作成方法を紹介します。



水彩画技法を使用した効果
(イメージを拡大表示)

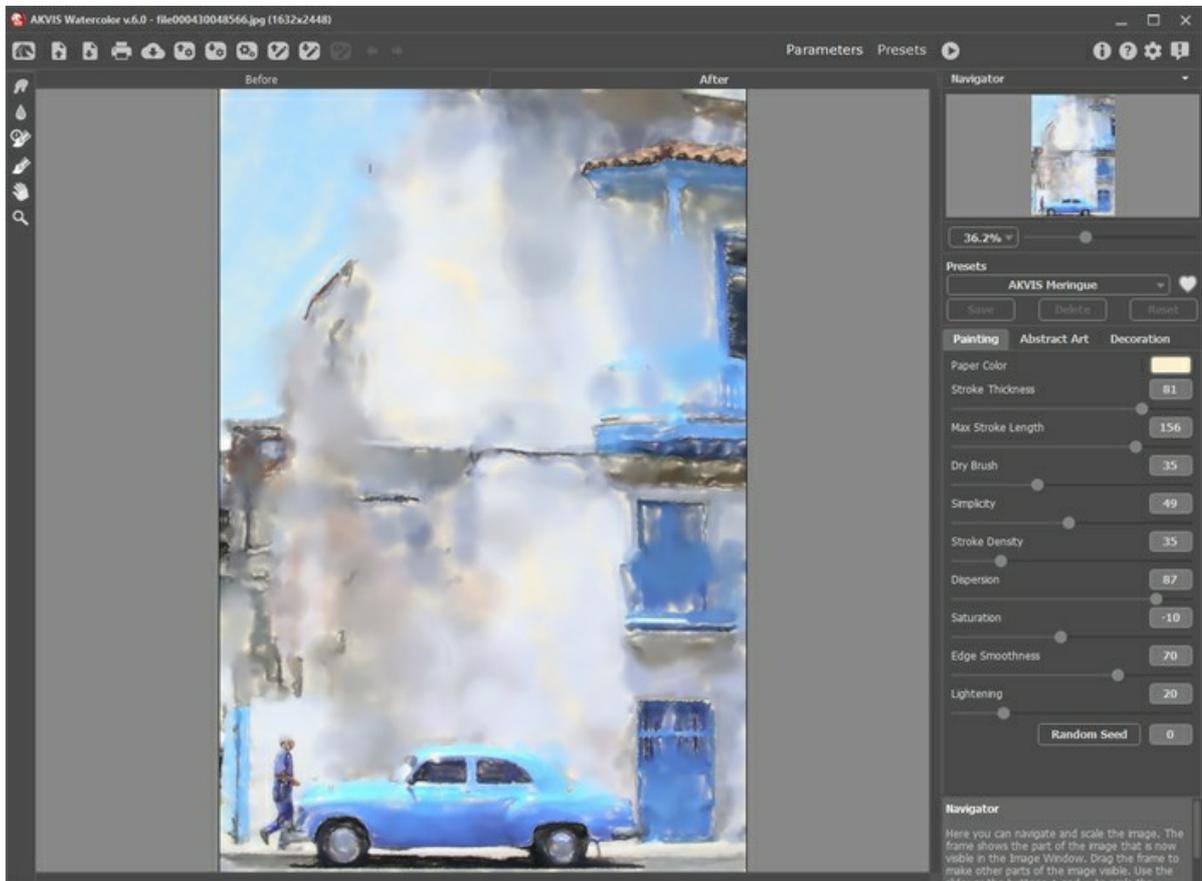
ステップ 1: AKVIS Watercolor でイメージを開くため、 ボタンをクリックします。



元のイメージ
ステップ 2: AKVIS Meringue プリセットを選択し、▶ をクリックして処理を実行します。



水でにじんだような処理結果ですが、これをベースの画像として使用します。



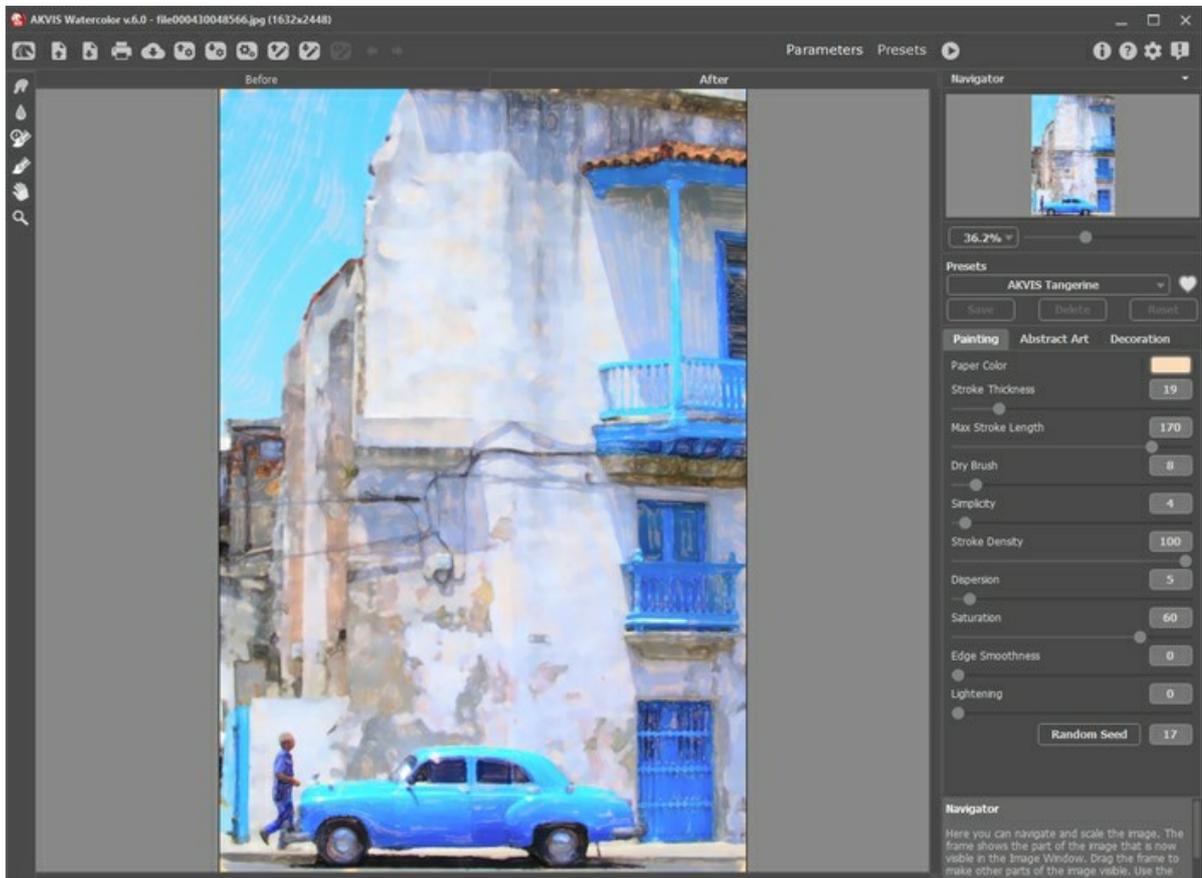
AKVIS Watercolor のワークスペース

 をクリックして、処理結果を保存します。

ステップ 3: AKVIS Tangerine プリセットを選択し、 をクリックして処理を実行します。



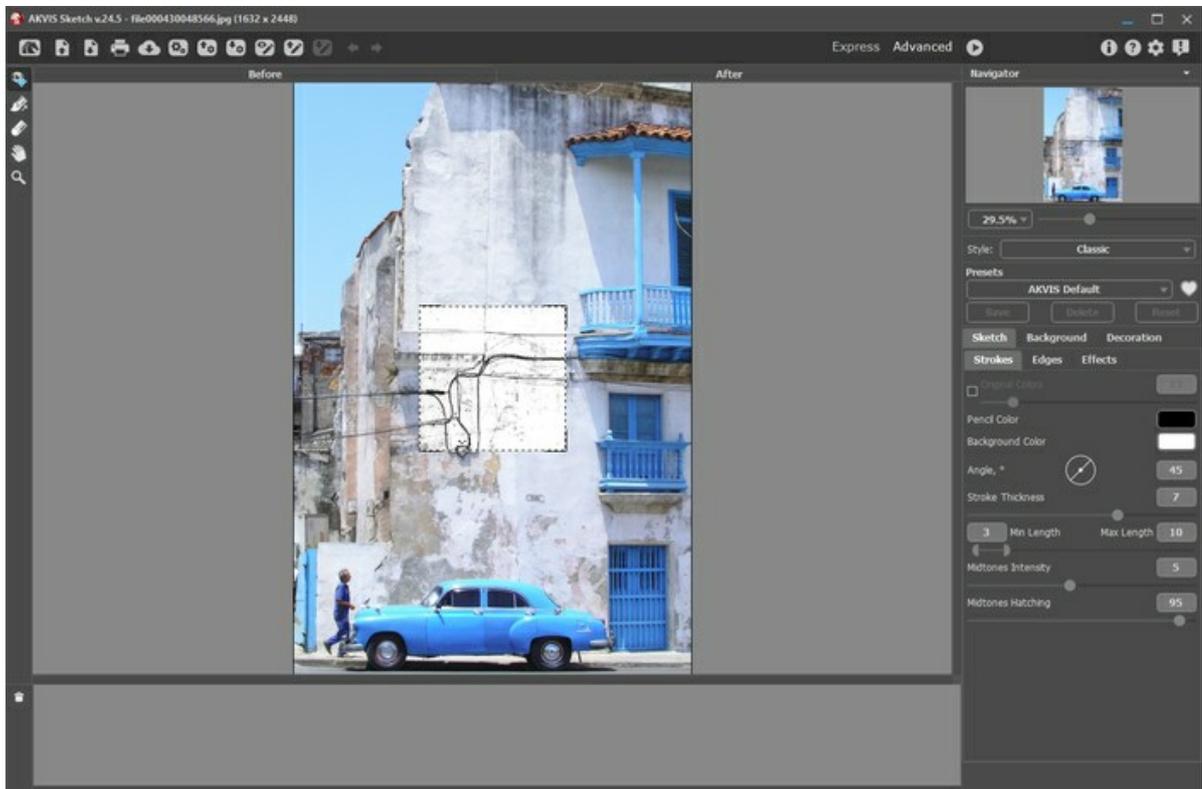
詳細部分がより鮮明な結果になり、1つ前の処理結果と組み合わせていきます。



AKVIS Watercolor のワークスペース

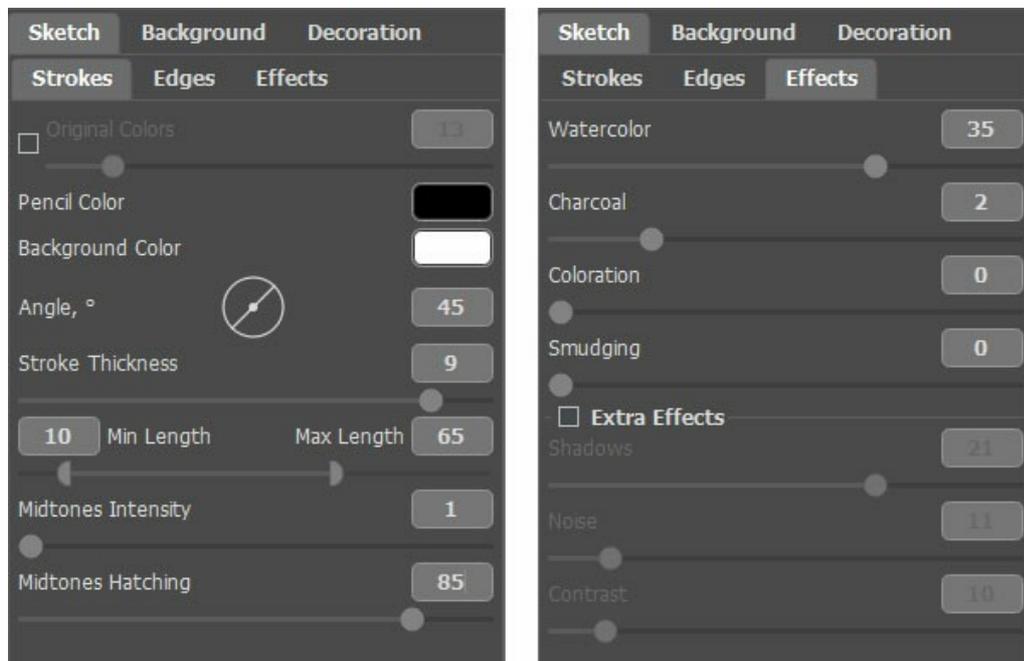
 をクリックして、処理結果を保存します。

ステップ 4: AKVIS Sketch で画像を開きます。



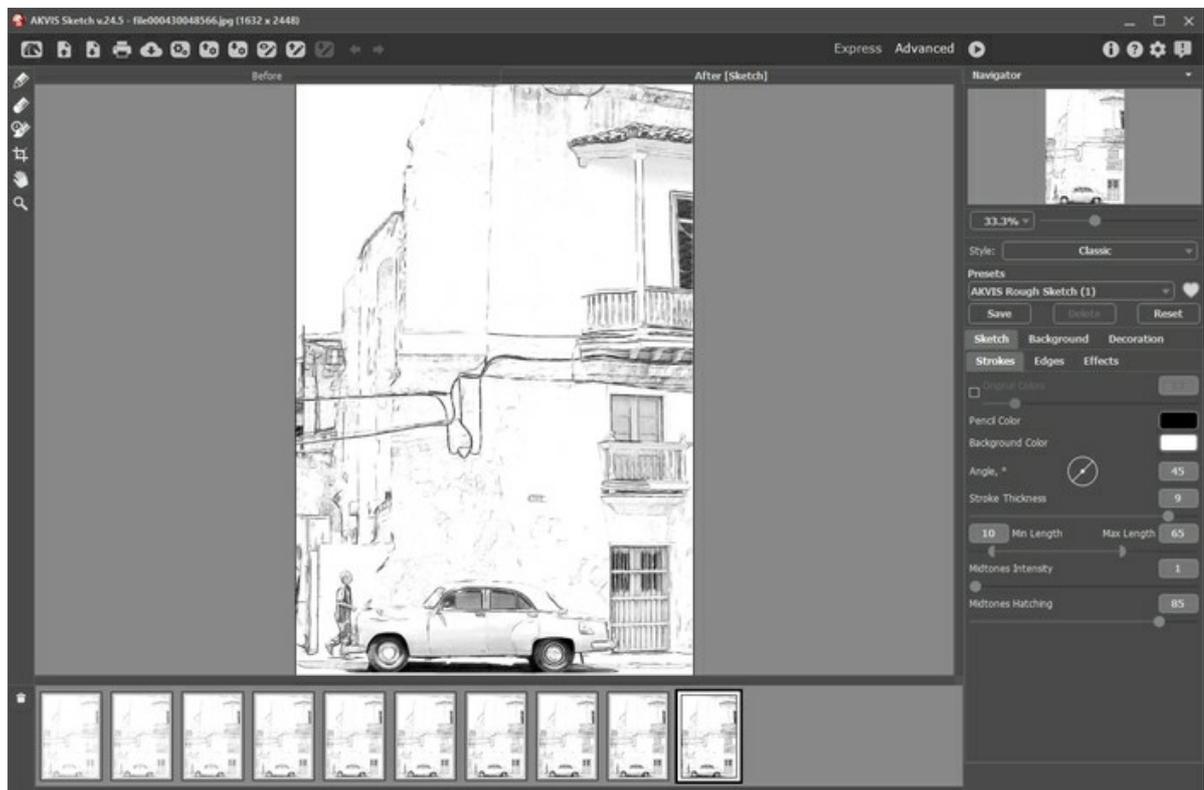
AKVIS Sketch のワークスペース

ステップ 5: AKVIS Rough Sketch プリセットをクラシックから選択し、以下の設定に調整後、 をクリックして処理を実行します。



Sketch の設定

処理結果は、薄いスケッチなので、水彩画と組み合わせることでより鮮明な印象を与えることができます。



薄いスケッチ

ステップ 6: タイムライン の中なら、4つ目の画像を選択し、 をクリックして結果を保存します。



AKVIS Sketch のタイムライン

ステップ 7: Meringue バージョン、Tangerine バージョン、Sketch バージョンの3通りを **AliveColors** で開きます。

ステップ 8: Tangerine 版の画像タブを開き、画像全体をコピーします。それを、Meringue 版の画像タブに、新しいレイヤーとして貼り付けます。レイヤーの名前を **Tangerine** に変更します。

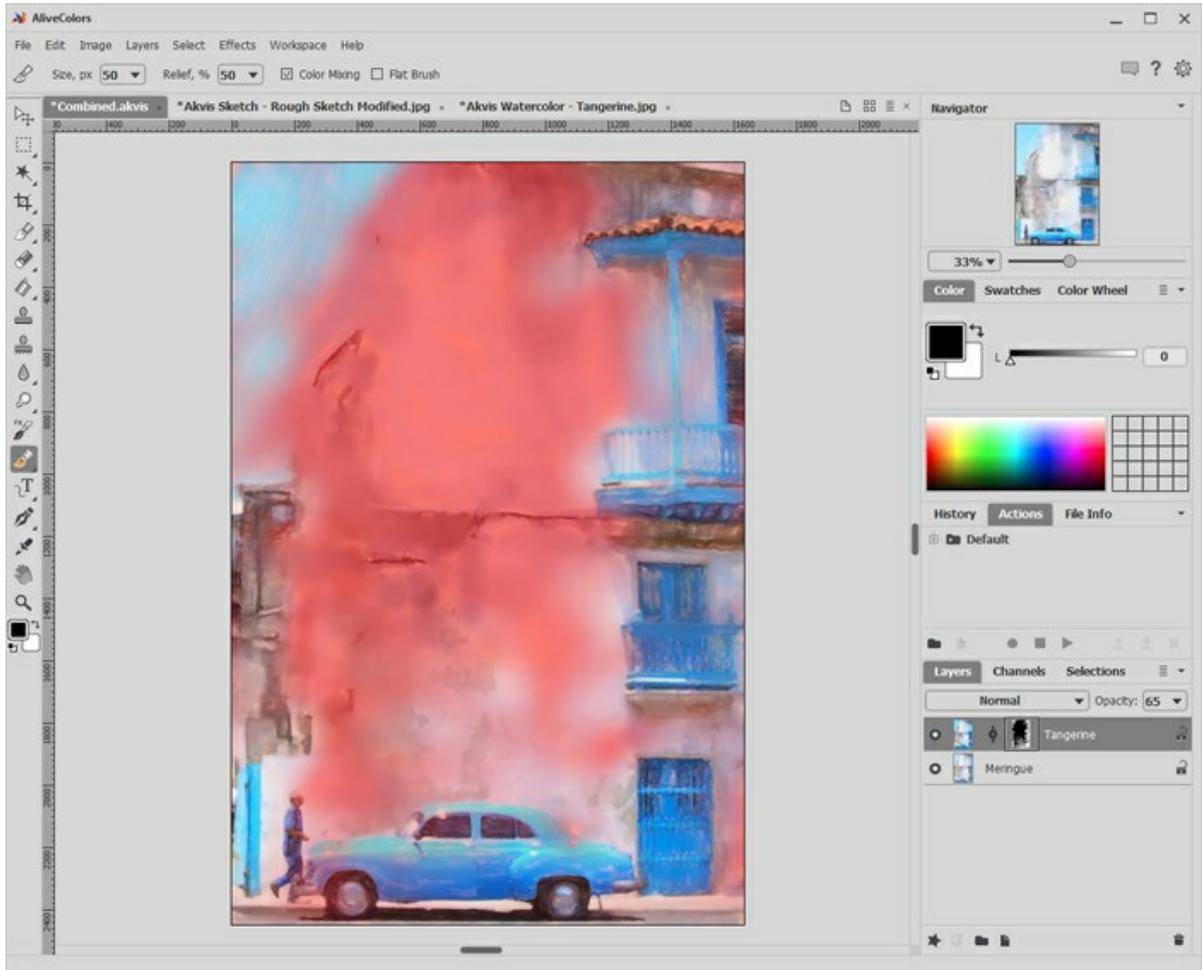
ステップ 9: カラーブラシツール  を選択し、前景色を白に設定します .

ステップ 10: [レイヤー]メニューから[すべて隠す]レイヤーマスクを選択して、**Tangerine** レイヤーに追加します。**Tangerine** レイヤーのレイヤーマスク サムネイルをクリックして、マスクを有効にします。



レイヤー

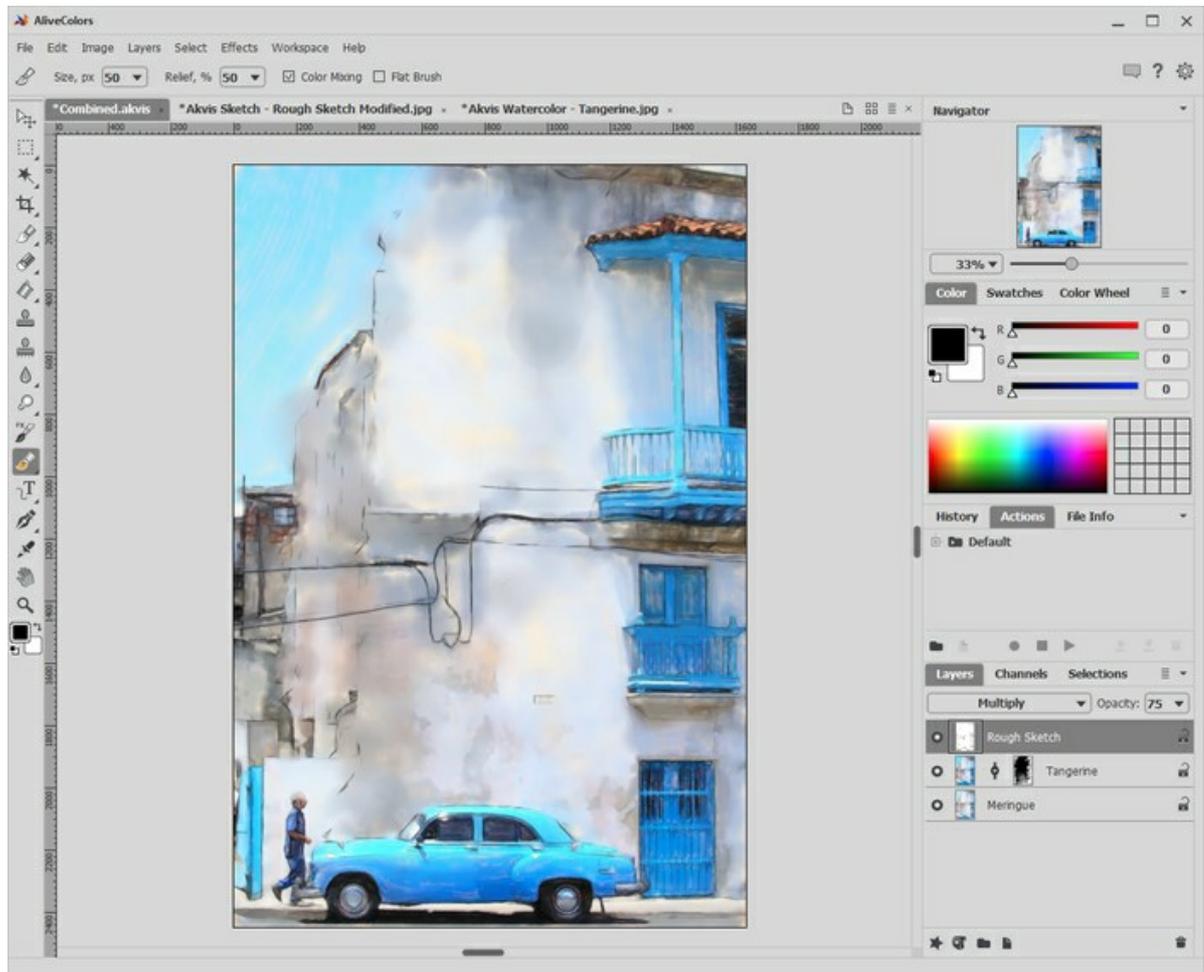
ステップ 11: Tangerine 版の表示したい部分をマスク上に描画します。



マスク上に描画

ステップ 12: *Tangerine* レイヤーのレイヤー サムネイルを選択すると、マスクが閉じます。

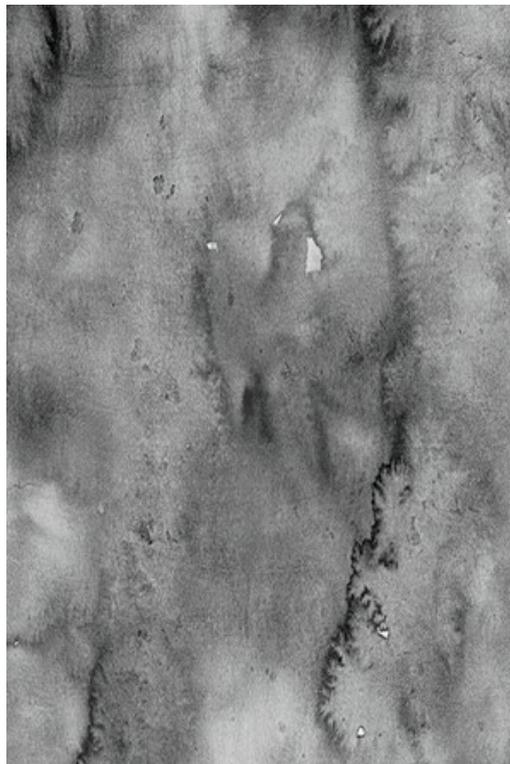
ステップ 13: *Sketch* 版の画像タブを選択し、画像全体をコピーします。それを *Meringue* 版の画像タブに、新しいレイヤーとして貼り付けます。レイヤーの名前を *Rough Sketch* に変更します。[乗算]レイヤー スタイルを選択し、[不透明度]を 75 に下げます。



Sketch レイヤーの追加

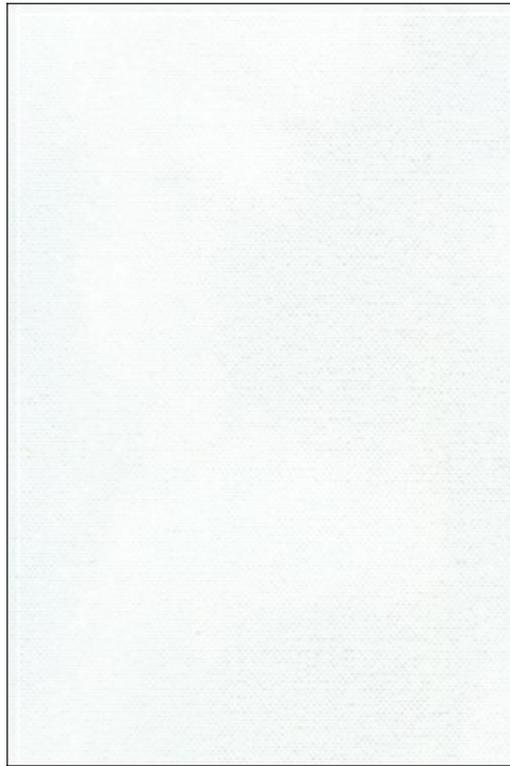
完成まであと一息です。さらに改良すると、もっと良い結果になるはずです。

ステップ 14: 本物の水彩画テクスチャをレイヤーとして追加します (インターネット上で無料提供されているもの、グレースケールであればなお良い)。**[乗算]**レイヤー スタイルを選択し、**[不透明度]**を調整します (例えば、60)。



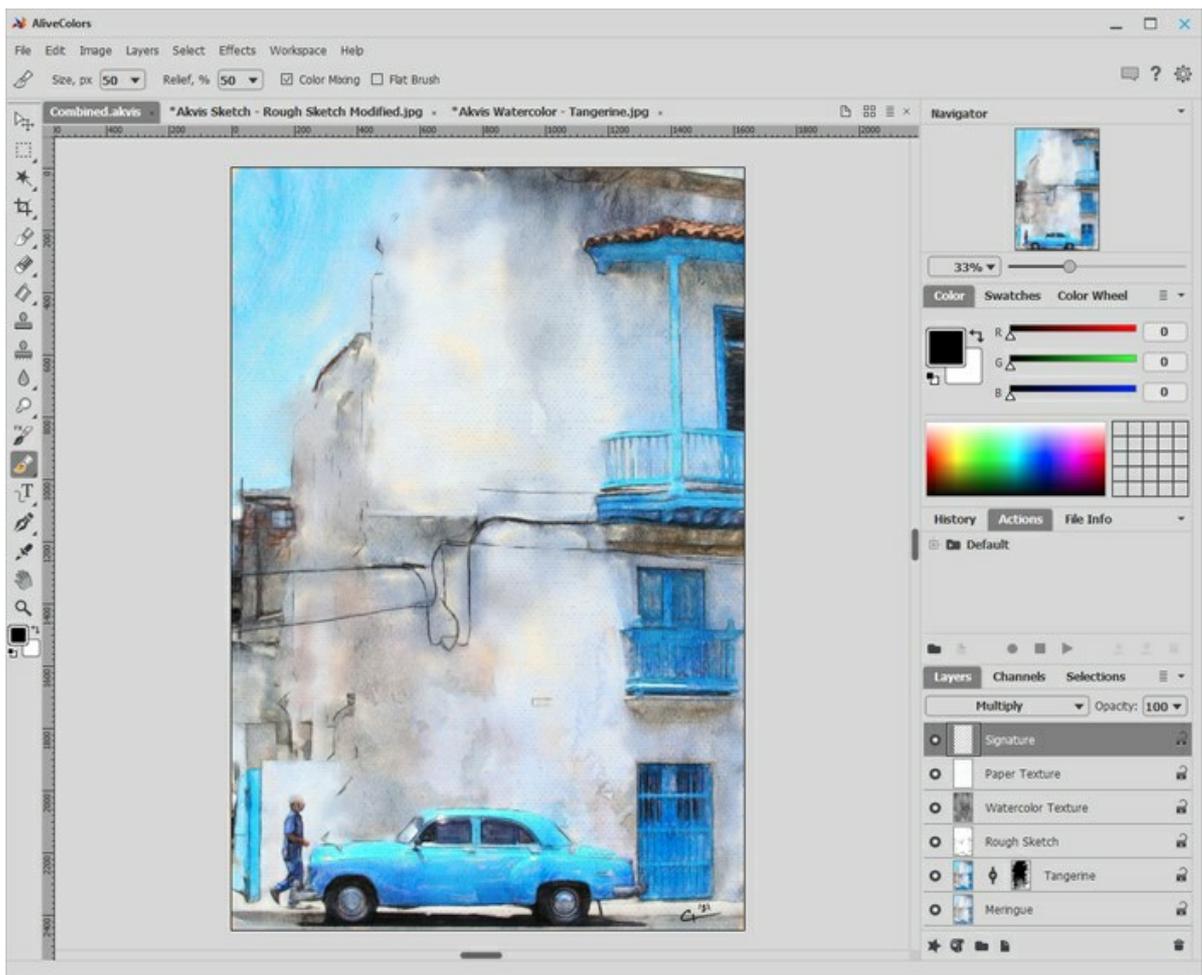
水彩のテクスチャ

ステップ 15: 本物の水彩画用紙のテクスチャ (グレースケールであればなお良い) をレイヤーとして追加します。**[乗算]**レイヤー スタイルを選択し、**[不透明度]**を調整します (100のままでも大丈夫です)。



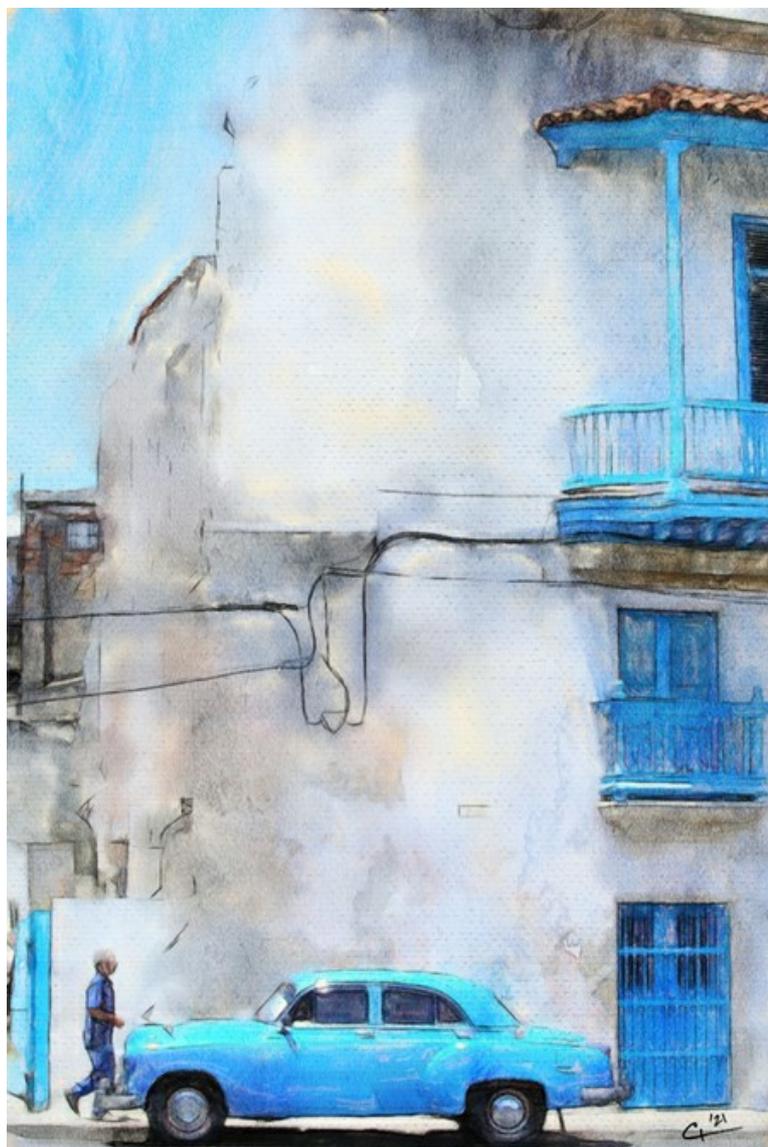
水彩画用紙のテクスチャ

ステップ 16: テキスト レイヤーを追加し、完成した作品にあなたの署名を追加しましょう。



署名レイヤー

ステップ 17: [ファイル]メニューの[保存]を選択すると、レイヤーを含むファイルを .AKVIS または .PSD 形式で保存できます。その後、共有するには、JPG ファイルで保存しなします。



さらに改良された水彩画

人物の水彩画: ぼかしと鮮明な部分の使い分け

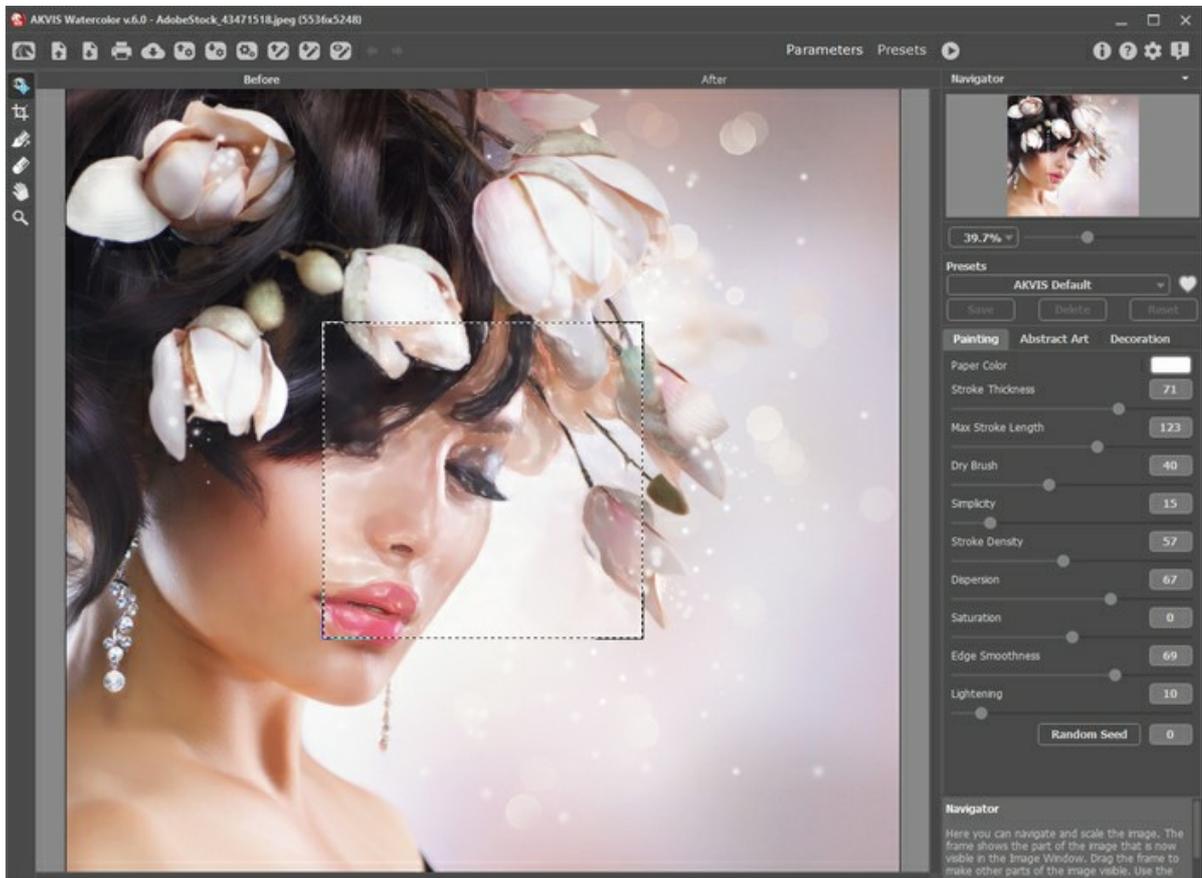
AKVIS Watercolor は、デジタル写真を鮮やかな水彩画に変換します。時折、水彩画の結果が思ったよりディテールが不足しているかぼかし具合が強すぎるという部分を見つけることがあるかもしれません。

このチュートリアルでは、被写体を引き立てるために、ディテールが鮮明な前面とぼかした背面を組み合わせる方法を紹介します。この方法は、人物写真の処理を行う際に顔の特徴のディテールを残したいという場合に有効です。



水彩画技法を使用した効果
(イメージを拡大表示)

ステップ 1: AKVIS Watercolor でイメージを開くため、 ボタンをクリックします。



Watercolor のプログラム ウィンドウ

ステップ 2: 写真から変換するための以下のパラメーターを使用します。



パラメーター: セット 1

▶ をクリックしてイメージ処理を実行します。

顔の特徴のぼかし具合はちょうどいいですが、背景や髪はもっとぼかしたいと思います。これによって、作品がより実際の絵らしくなります。このステップを繰り返して、結果を改善していきます。



結果 1

まず、 をクリックして現段階の処理結果を保存します。

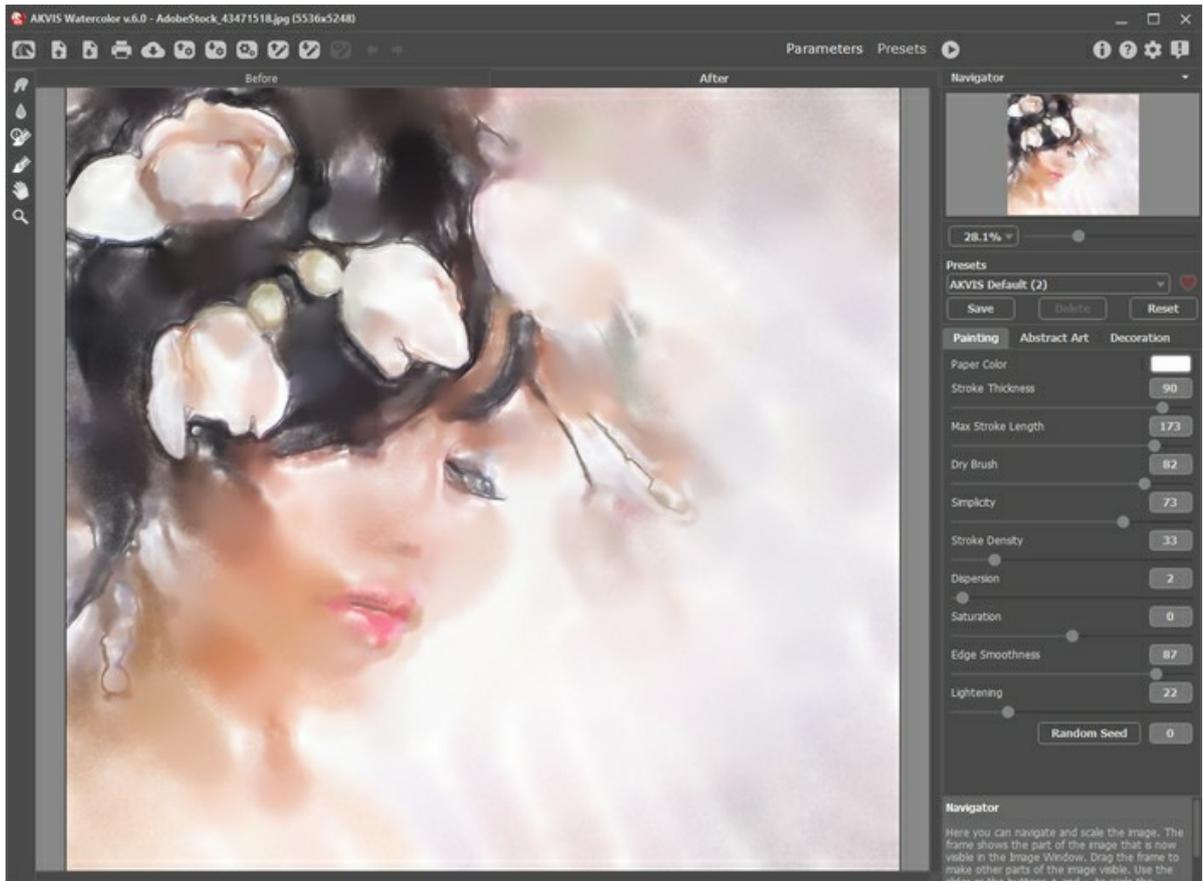
ステップ 3: 今保存したイメージを、 ボタンをクリックして開きます。

効果パラメーターを次のように調整し、 をクリックして、処理を実行します。



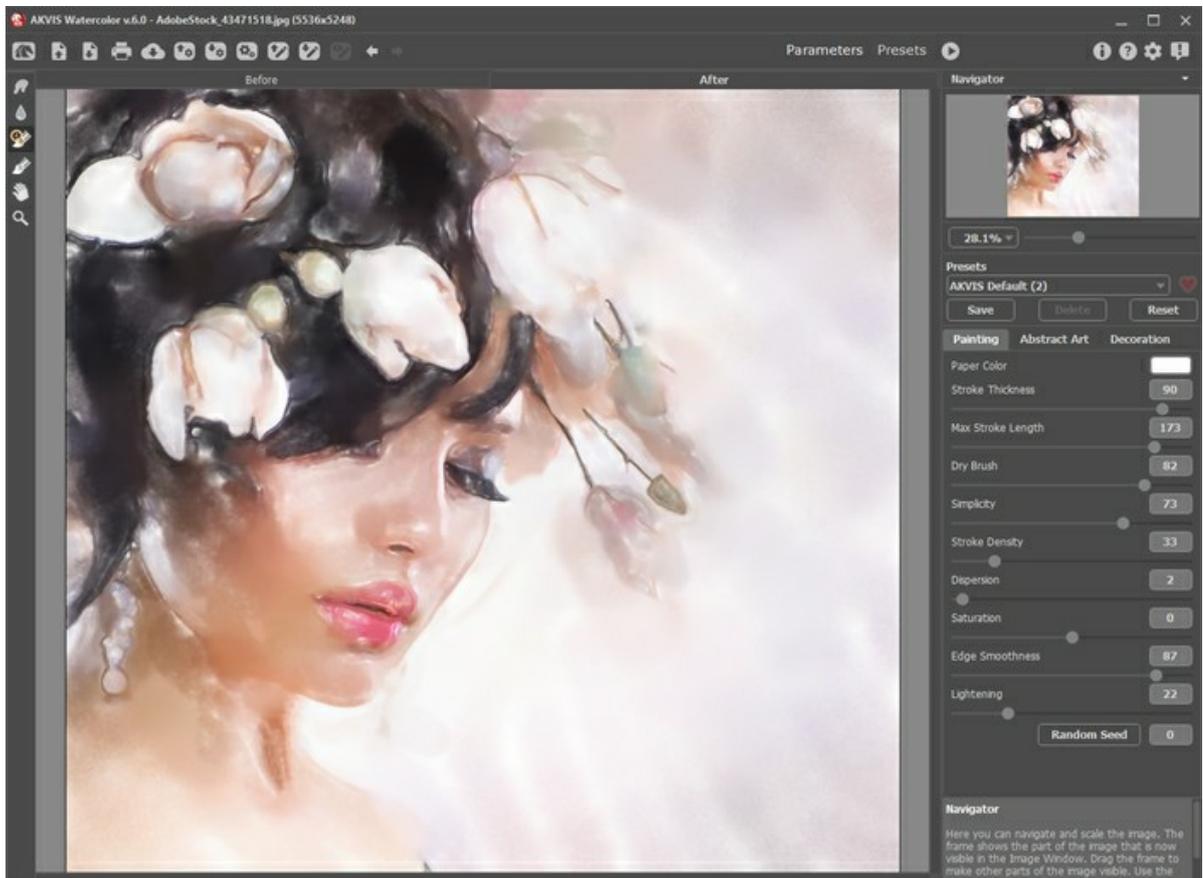
パラメーター: セット 2

この場合、顔の特徴がぼかされ過ぎていますが、背景や髪のぼかし具合はちょうどいいです。



結果 2

ステップ 4: それぞれの処理結果の良いところを組み合わせていきます。履歴ブラシ ツール  を使って顔の特徴をレストアします。



処理結果の結合

ステップ 5: 結果を保存します。

桜: 水彩とスケッチ技法の融合

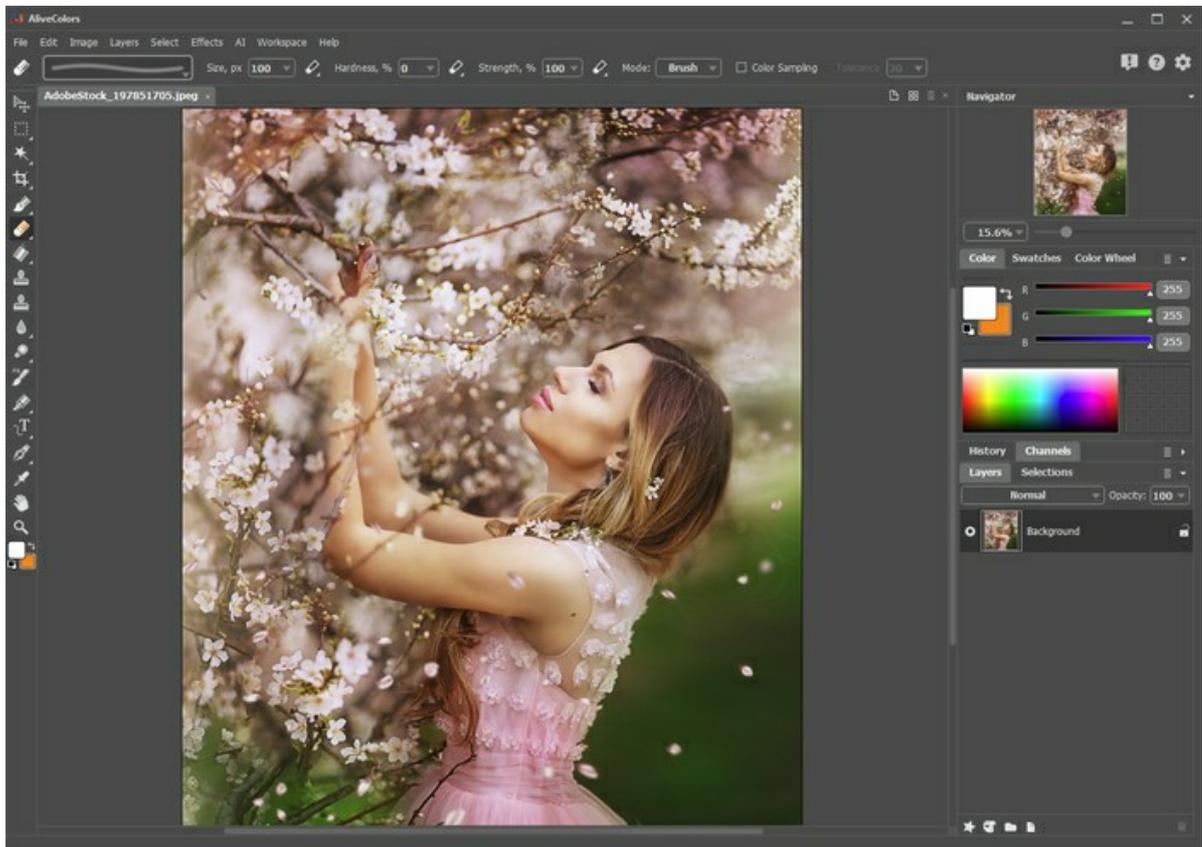
優れた技能を持つ AKVIS プログラムにより、デジタル写真を様々な技法を使用して作品を変換できます。1つのイメージ内で幾つかの効果を組み合わせるなら、さらに想像力の可能性を広げることができます。

このチュートリアルでは、[AKVIS Watercolor](#)、[AKVIS Sketch](#)、[AliveColors](#) 画像エディターを使用して魅力的な作品を作る方法を紹介しします。刺激を受け、AKVIS プログラムを色々試してみてください!



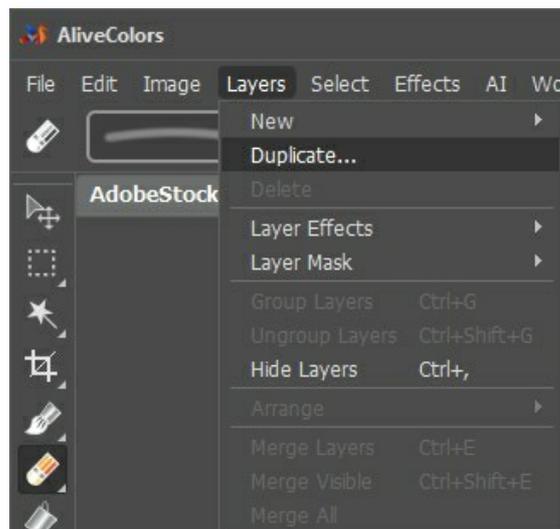
水彩画技法とスケッチ効果
(イメージを拡大表示)

ステップ 1: [AliveColors](#) 画像エディターでイメージを開きます。ソフトウェアの無料版が利用できます。

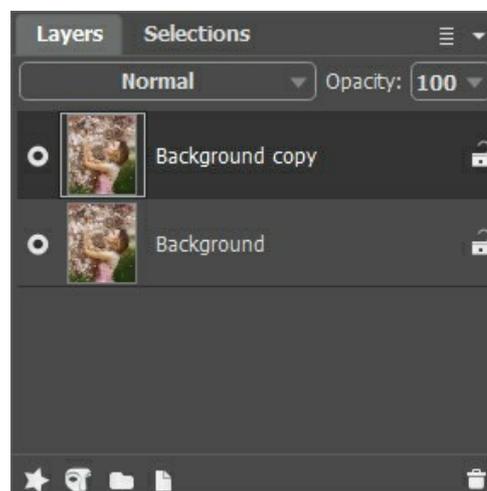


AliveColors のプログラム ウィンドウ

ステップ 2: 背景レイヤーの複製を行うため、[レイヤー] メニューの[複製]コマンドを使用します。



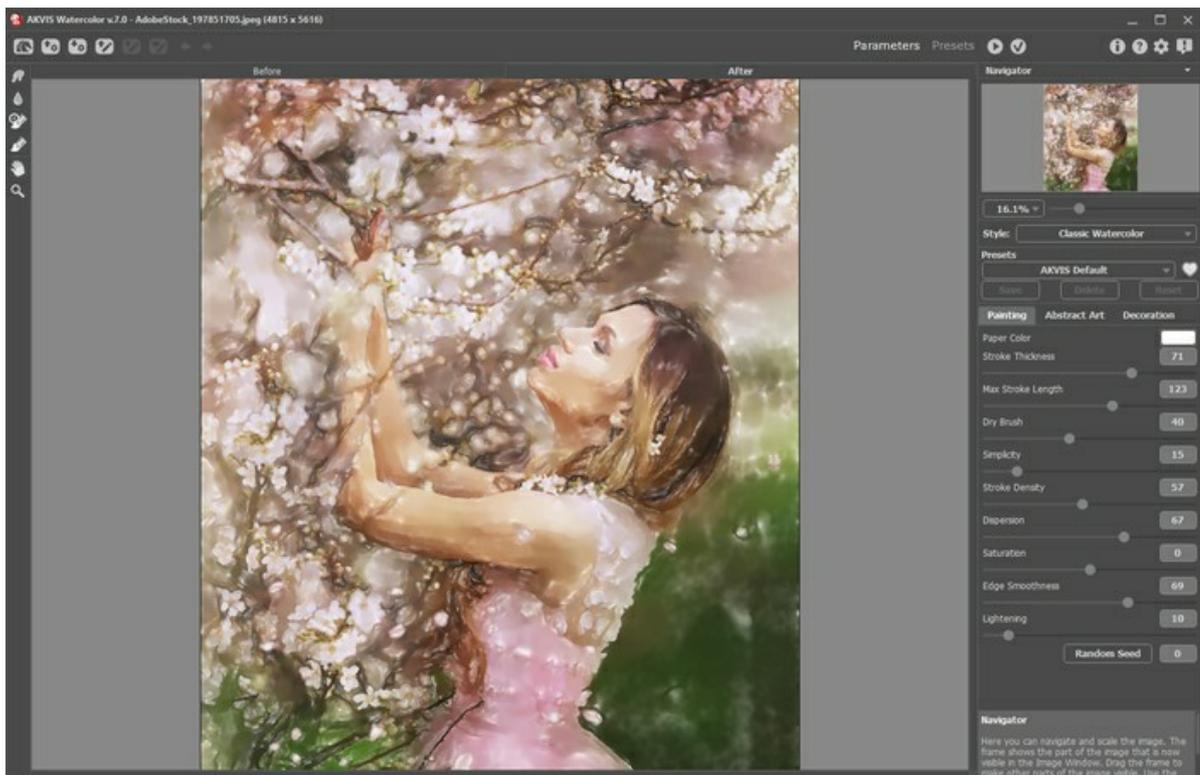
レイヤーを複製



背景をコピー

ステップ 3: AKVIS Watercolor を使って、下のレイヤーを水彩画に変換します。背景レイヤーを有効にし、[効果]メニューから Watercolor プラグインを呼び出します。[効果] > [AKVIS] > [WaterColor]を使用します。

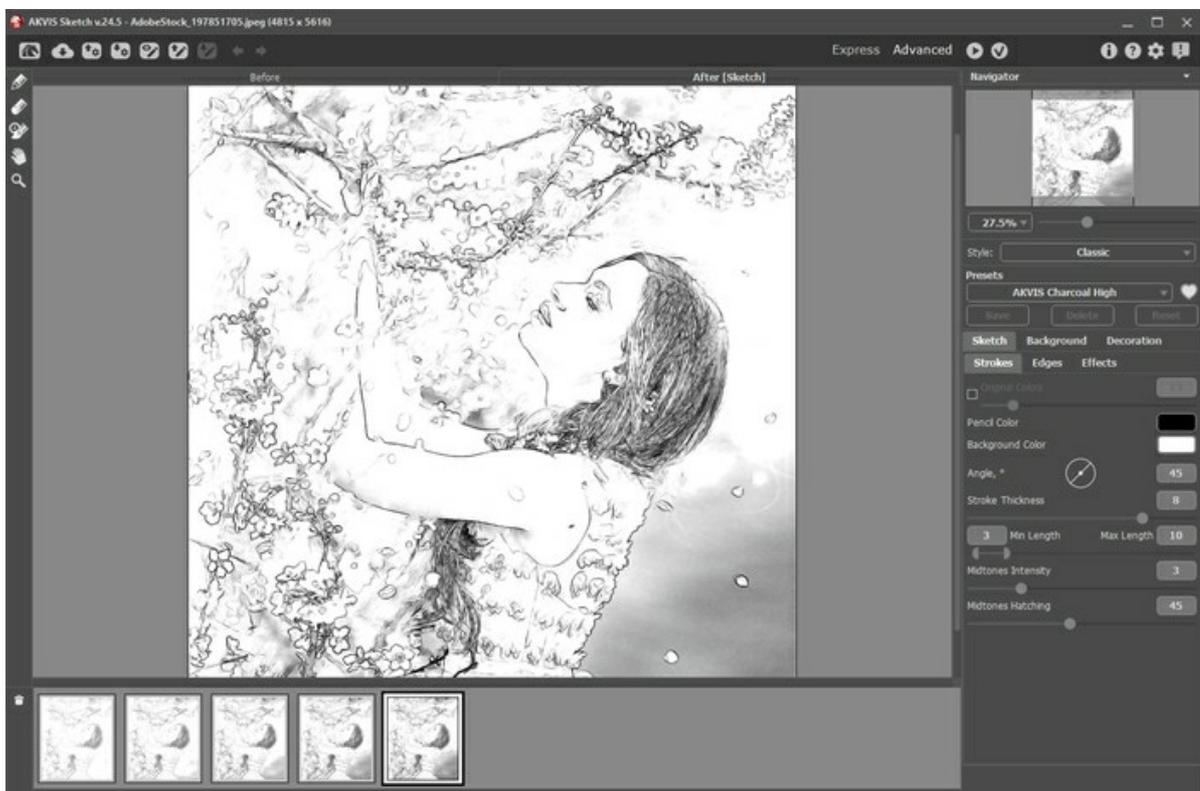
いずれかのプリセット (ここでは AKVIS Default) を選択し、▶ をクリックして処理を実行します。✔ をクリックして、変更を適用します。



AKVIS Watercolor ウィンドウ

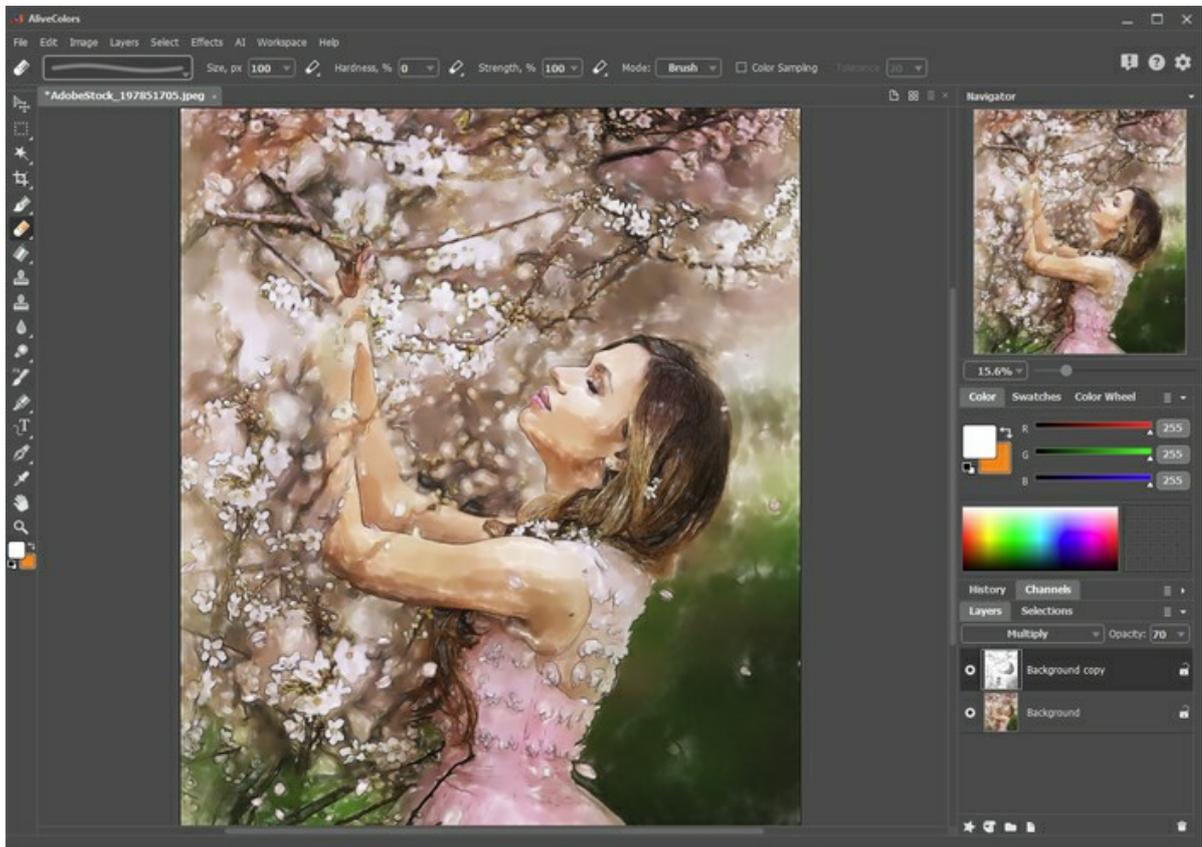
ステップ 4: 上のレイヤーを、AKVIS Sketch を使って鉛筆画に変換します。背景レイヤーのコピーを有効にし、[効果]メニューから Sketch プラグインを呼び出すには、[効果] > [AKVIS] > [Sketch]を選択します。

いずれかのプリセット (ここでは AKVIS Charcoal High) を選択し、▶ をクリックして処理を実行します。✔ をクリックして、変更を適用します。



AKVIS Sketch ウィンドウ

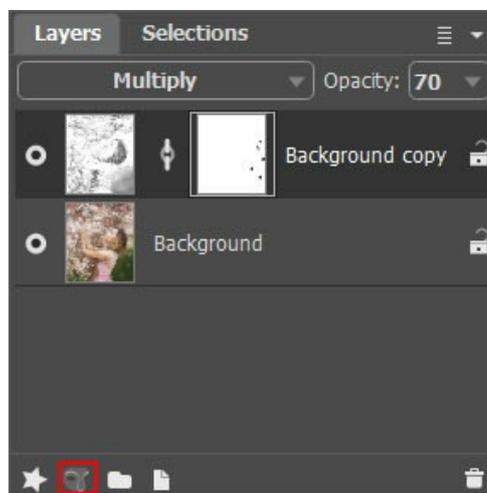
ステップ 5: 上のレイヤーを選択し、ブレンドモードを乗算に変更します。[不透明度]の値を 70 まで下げます。



乗算モード

ステップ 6: 余分な鉛筆線は、レイヤー マスクを使用して削除できます。上のレイヤーを選択し、[マスクの新規作成]ボタン  をクリックします。ボタンを押すと、レイヤーのサムネイル横に、さらに別のサムネイルが表示されます。

マスクのサムネイルを選択します。マスクを黒で塗った場合、該当するレイヤーの部分は隠されます。マスクを白で塗った場合、該当するレイヤーの部分は表示されます。



レイヤー マスク

ステップ 7: [レイヤー]メニューの[すべて結合]を使用してレイヤーを結合し、結果を保存します。

航行する船: 水彩画

AKVIS Watercolor は、写真を鮮やかな水彩画に変換します。

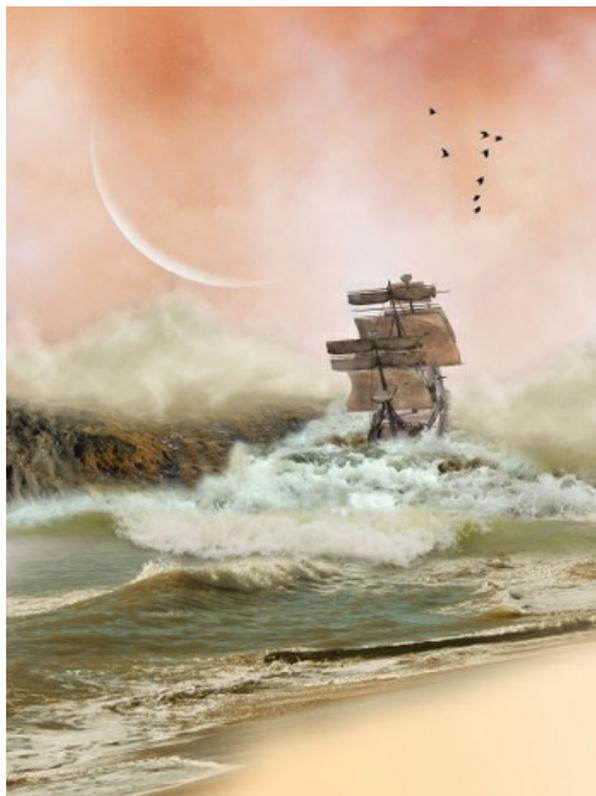
海の絵や海洋画は明るい色が多く使われ、荒れた海や大きな難破を描いたものは特にそういえます。このチュートリアルでは、海の情景の水彩画を作り出す方法を紹介합니다。



元のイメージ

結果

ステップ 1: AKVIS Watercolor ソフトウェアを起動します。イメージを開きます。

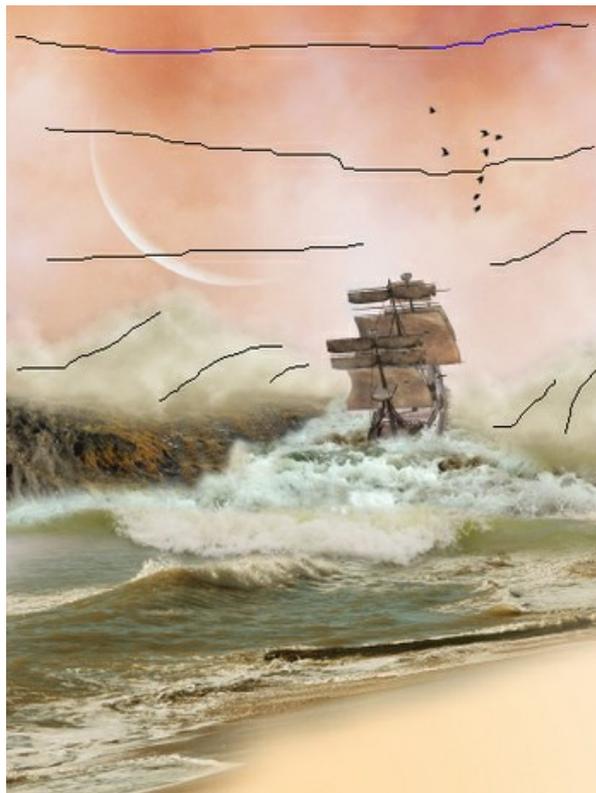


元のイメージ

ステップ 2: クイックプレビュー ウィンドウを使用して効果パラメーターを調整、またはデフォルトのパラメーター設定を使用します。イメージが暗い場合は、[明るさ] パラメーターの値を上げるなら、水彩画が持つ特異な輝きを損なうことはありません。▶ をクリックしてイメージ処理を開始します。

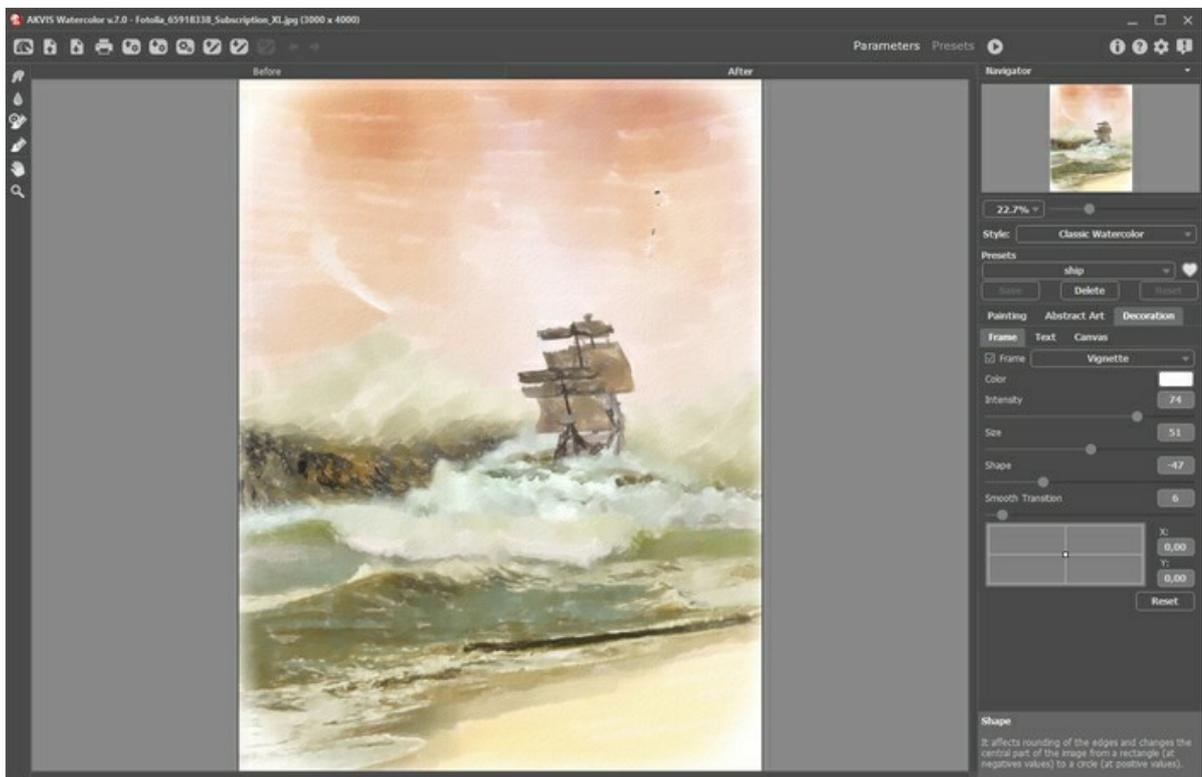


AKVIS Watercolor ウィンドウ
ステップ 3:ストロークの方向 ツール  を使って、ストロークの方向を変えることができます。この機能は **Home Deluxe** および **Business** ライセンスでのみ利用可能です。ツールを選択し、空に横方向の誘導ラインを何本か描画します。



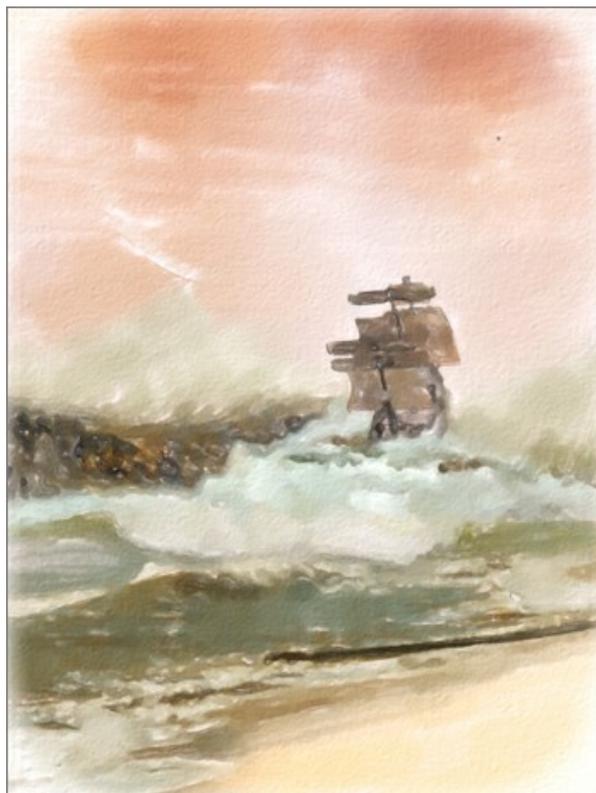
誘導ライン

ステップ 4:より現実的な効果を出すには、テクスチャを追加し、エッジ部分がペイントされていないかのように見せるピネットを追加します。効果は、[装飾]タブに用意されています。



キャンバスとフレームを追加

ステップ 5: 結果を保存します。



水彩画

WATERCOLOR ギャラリー

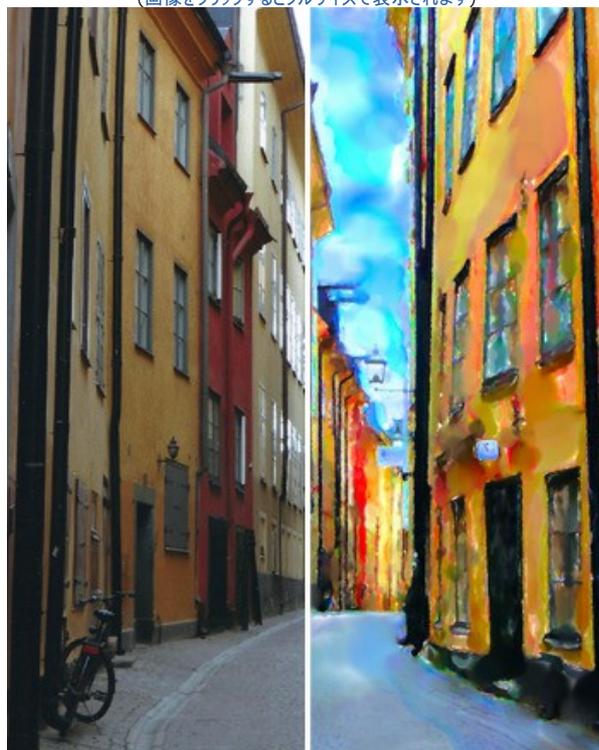
AKVIS WaterColor を使った作品を集めたギャラリーをご覧ください。作品を共有していただける場合は、info@akvis.com までお送りください。

Paul Baggott が した水彩画を紹介します。



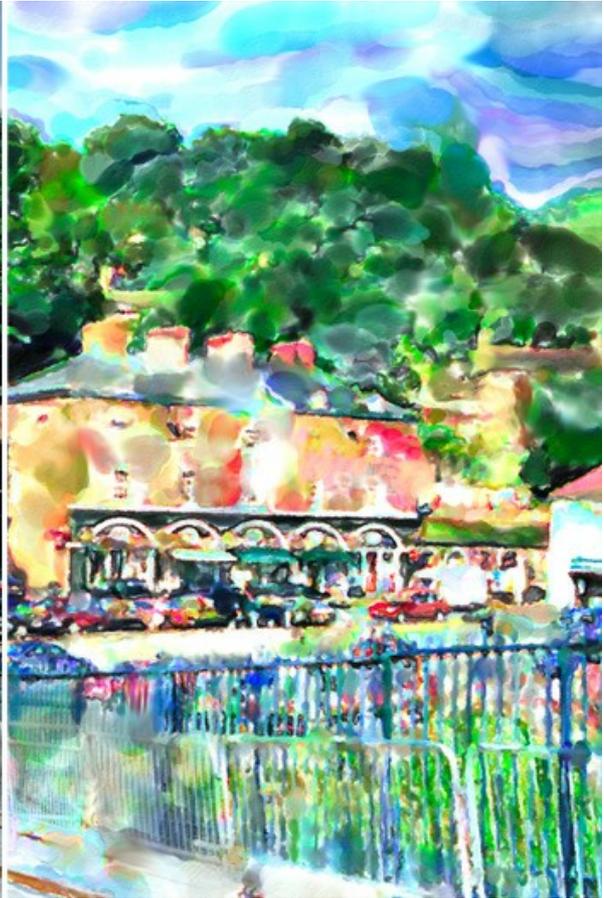
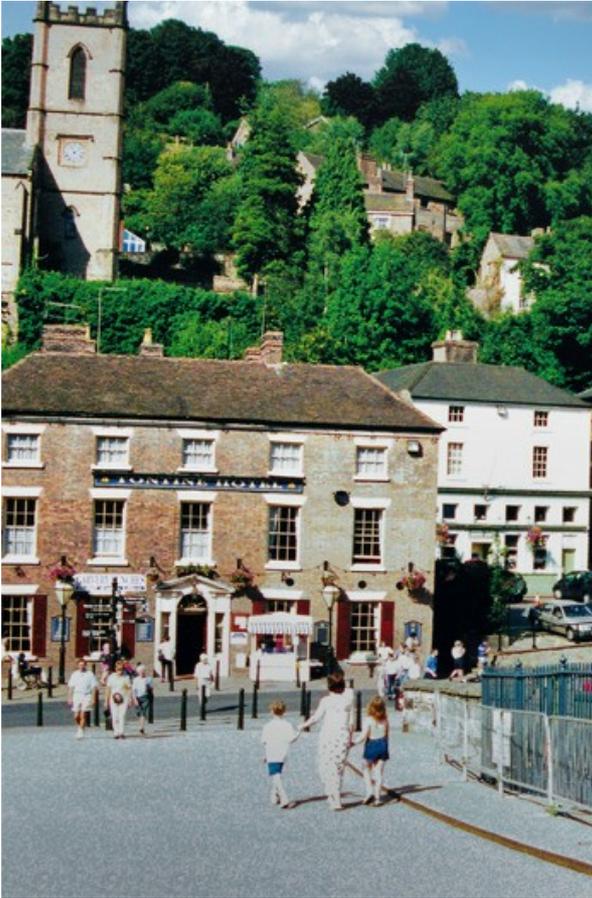
Chain

(画像をクリックするとフルサイズで表示されます)



Copenhagen

(画像をクリックするとフルサイズで表示されます)



Ironbridge
(画像をクリックするとフルサイズで表示されます)



Pisa
(画像をクリックするとフルサイズで表示されます)



Southampton Yacht
(画像をクリックするとフルサイズで表示されます)



Spanish Steps
(画像をクリックするとフルサイズで表示されます)



Tower Bridge
(画像をクリックするとフルサイズで表示されます)



Venice Yacht
(画像をクリックするとフルサイズで表示されます)



Venice Canal
(画像をクリックするとフルサイズで表示されます)

画像をクリックするとフルサイズで表示されます。

Klaus Beyer が stock 画像を使用して作成した水彩画を紹介します。



ザーンセ・スカンス (オランダの観光名所)



サントリーニ島 (水彩 + スケッチ)



リンゴの花

写真から水彩画に変換した他の例もご覧ください。



にぎやかな雰囲気



素晴らしい夕日



バレリーナ



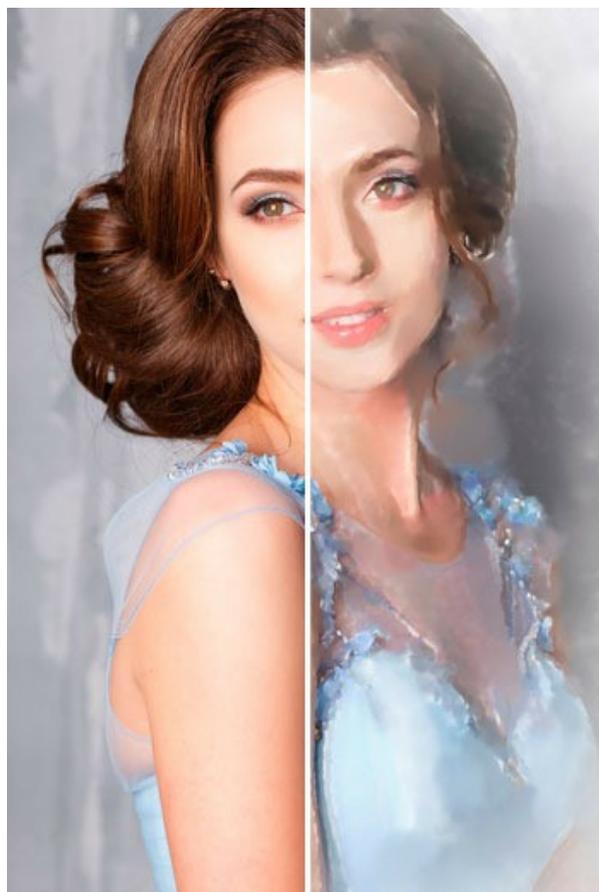
春の夢



スイスのシルス湖



バラの思い出



若い女性の画像



青い空



冬の楽しみ



笑顔の花嫁



ラベンダー畑

AKVISプログラム

[AKVIS AirBrush](#) — エアブラシを使ったぼかし処理を手軽に適用

AKVIS AirBrush は、写真をスプレー塗料またはインキをスプレーする特殊なエアブラシツールで作られたように見える芸術作品に自動的に変換します。ソフトウェアは、選択した写真から絵画への変換設定を使用して、画像からスタイリッシュでカラフルなエアブラシデザインを作成する芸術的なフィルタとして動作します。 [詳細情報](#)



[AKVIS Artifact Remover AI](#) — JPEG 圧縮画像の補整

AKVIS Artifact Remover AI は、AIアルゴリズムを使用して、JPEG 圧縮アーテファクトを取り除き、圧縮した画像本来の品質に補整します。このソフトウェアは、無料で利用できます。ホームユーザーにも上級ユーザーにも活用いただけるツールです。 [詳細情報](#)



[AKVIS ArtSuite](#) — 写真をオリジナルで華やかに飾ります!

AKVIS ArtSuite は、写真を飾るための印象的かつ多用途な効果を集めたものです。写真をオリジナルで華やかに飾ります! 友人へ送るポストカードの作成、旅の思い出アルバムの作成、デスクトップ用の壁紙、または、アート感覚で楽しむためなど、さまざまな場合で必要になるでしょう。ArtSuiteは、いくつかの基本的な効果が用意されており、効果を適用したバージョンを無限に作成できます。 [詳細情報](#)



AKVIS ArtWork — 写真から絵画を作成しましょう！

AKVIS ArtWorkは、様々なペイントテクニックを模倣できるよう設計されています。プログラムは、8種類のペインティングスタイルを提供しています：油絵、技法、グアッシュ、コミック、ペン & インク、リノカット、パステル、点描。簡単にデジタル写真から名作を作り出すことができます。 [詳細情報](#)



AKVIS Chameleon — フォトコラージュ作成

AKVIS Chameleon は、挿入した被写体の自動調整、対象のイメージカラー範囲の調整、被写体の境界の円滑化などができる効果的なツールです。このツールはいくつかの目的に役立ちます：写真に新しい被写体を挿入したいけれど、従来のツールよりもフレキシブルで簡単なものがほしい(コラージュ作成)、 いらぬ不具合を、イメージの近くのパーツと置き換えて隠したい(クローンツールと類似)。 [詳細情報](#)



AKVIS Charcoal — 簡単なステップで写真が木炭画になります！

AKVIS Charcoal は、写真を木炭やチョークを使用して描いた絵のように変換することができる芸術的なツールです。黒と白の著しい違いを使用した材料の統合もできます。色やオプションを使用することによって、素晴らしい芸術的な効果を作り上げることができます。 [詳細情報](#)



AKVIS Coloriage — 白黒写真を色付けする

AKVIS Coloriage で白黒写真に息吹を！

Coloriageを使用すると、白黒写真をカラー写真として蘇らせることができるだけでなく、カラー写真の色を変更して印象を刷新したりすることができます。 [詳細情報](#)



AKVIS Decorator — 被写体の模様や色を変更

AKVIS Decorator は、被写体表面の色や模様を違和感なく変更することができるソフトウェアです。このソフトウェアを使用すると、女性のドレス、車体、家具など、写真の一部を選択して、新しい色や模様を適用することが可能です。 [詳細情報](#)



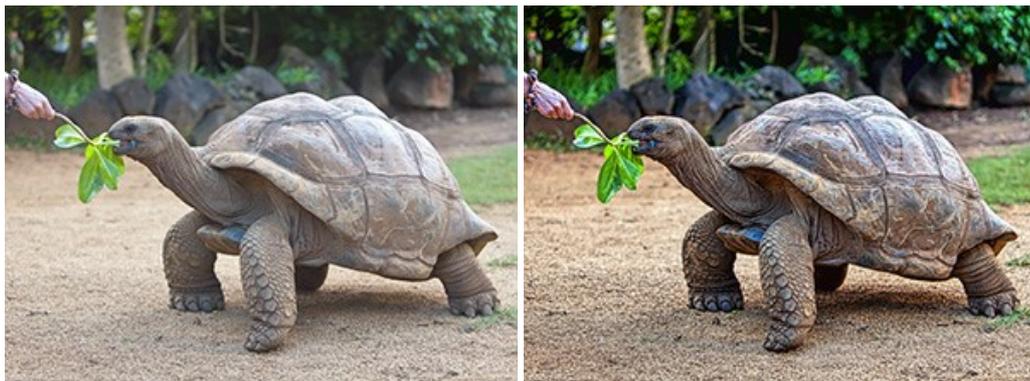
AKVIS Draw — 手書きの鉛筆画への変換

AKVIS Draw は、デジタル画像から、手書きの鉛筆画やラインアートを作成します! ソフトウェアは非常に使いやすく、ワンクリックで自然な鉛筆画を作成します。 [詳細情報](#)



AKVIS Enhancer — 詳細を引き立てるツール

AKVIS Enhancer は、不鮮明になってしまった原因に関わらず、ディテールを高めることができるイメージ補正ソフトウェアです。本プログラムは、露出が均一ではない写真から露出不足、露出過度、中間調の各領域のディテールを検出します。 [詳細情報](#)



AKVIS Explosion — 素晴らしい粒子の爆発効果

AKVIS Explosion は、写真に爆発効果を追加し、砂などの粒子を適用します。このソフトウェアを使用することで、人目をひくグラフィックを数分で作成できます! [詳細情報](#)



[AKVIS Frames – フレームパック](#)

AKVIS Frames は、AKVISフレームパックと共に機能する無料写真校正ソフトウェアです。

このプログラムを使えば、専用の写真フレームであなたの写真を簡単にデコレートすることができます！ [詳細情報](#)



[AKVIS HDRFactory – 実際に明るい画像に!](#)

AKVIS HDRFactory では、単一イメージまたは同様のイメージを複数枚を使用して、HDRイメージを作成できます。このプログラムは画像修正を行うために使用することもできます。AKVIS HDRFactoryで写真に息吹、そしてより鮮やかな色合いを！ [詳細情報](#)



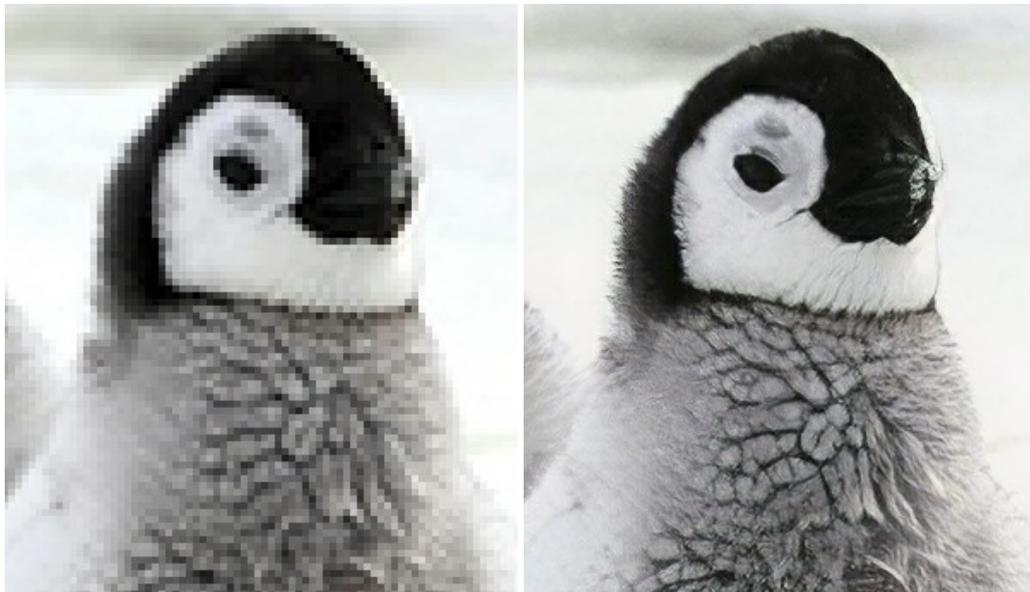
[AKVIS LightShop – 光と星の効果](#)

AKVIS LightShop を使って、無限の光のイメージ効果を作成してみましょう。荒れ模様の空にある光、町を横切るカラフルな虹、雲に映る反射、暖炉の燃っている木の炎、夜空の中で輝く未知のサイン、太陽の揺らめく炎、遠方の惑星の光、花火 - 貴方の想像の限りに！ [詳細情報](#)



AKVIS Magnifier AI – きれいに画像解像度を上げることができます！

AKVIS Magnifier AI を使えば、効率的に画像解像度を上げることができます。Magnifier AIは、先進の拡大アルゴリズムを用い、ポスターサイズ印刷にまで対応できるよう、デジタル画像を驚くほど美しく超高解像度に拡大します。 [詳細情報](#)



AKVIS MakeUp – 理想の肖像画を作成しましょう！

AKVIS MakeUp を使うと、写真に魅力が加わり、プロのような仕上がりが期待できます。

肌に見られるシミなどのレタッチを行い、輝きがあり、美しく、滑らかで、澄んだ肌を作り出します。 [詳細情報](#)



AKVIS NatureArt – リアルな自然現象がデジタルアートで再現できる！

AKVIS NatureArt は、壮大な自然現象をデジタル写真に再現するための素晴らしいツールです。自然の効果は、私たちが受ける印象に与える影響が大きく、写

真からくる印象を強調するために使用することもできます。自然現象の効果を劇的に追加したり、天気を変えたりできます! [詳細情報](#)



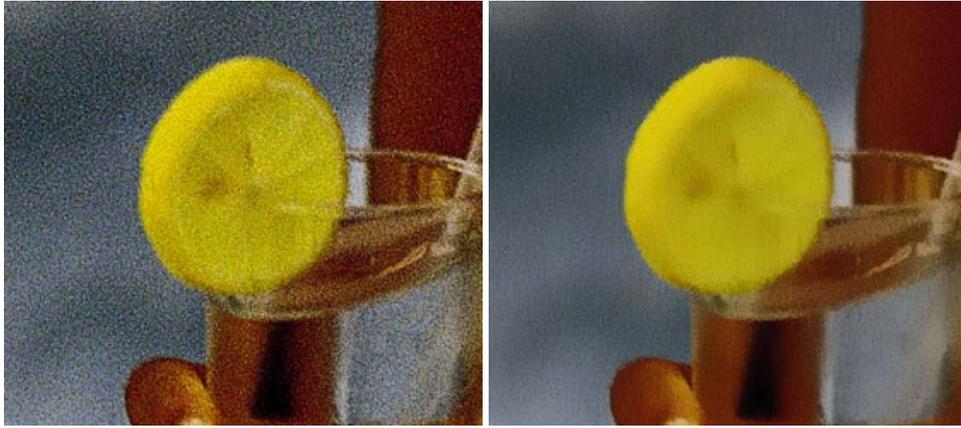
[AKVIS Neon – グローエフェクト](#)

AKVIS Neon は、ネオンのような発光インクを使用して描いたように見える写真に変換します。このツールを使用すると、驚くような輝くラインエフェクトを作成できます。まるで光を使って描く画家になったような気分が味わえます! [詳細情報](#)



[AKVIS Noise Buster AI – デジタルノイズリダクション](#)

AKVIS Noise Buster AI を使用すると、写真の印象を損なうことなく、デジタル写真上の輝度ノイズとカラー ノイズの両方を低減することができ、プロの写真家が撮影したような仕上がりが得られます。 [詳細情報](#)



AKVIS OilPaint — 油絵効果

AKVIS OilPaint は、写真を油絵に変換するソフトウェアです。プログラムの特長は、ブラシ ストロークの芸術的な適用を行うユニークなアルゴリズムにより、可能な限り本物のブラシで描いたように見えるよう変換されるという点です。 [詳細情報](#)



AKVIS Pastel — 写真をパステル画に変換

AKVIS Pastel は写真をパステル画調に変換します。このプログラムは、芸術的テクニックの一つでもあるパステルアートをデジタル画像で作りだそうというものです。 [詳細情報](#)



AKVIS Points — 写真に点描画法の効果を活用!

プログラムを使用することで、イメージを点描画法を使用した芸術作品に変換できます。写真であっても、点描画法を使用した素晴らしい絵画になります! [詳細情報](#)



AKVIS Refocus AI – ピンボケの修正とぼかし効果

AKVIS Refocus AI は、ピンぼけしたイメージを鮮明にします。イメージ全体の処理を行うはもちろん、背景に対して手前の被写体などが目立つように指定部分のみピントの調整を行うこともできます。本ソフトウェアには、[リフォーカス AI]、[逆ティルト効果]、[アイリスぼかし]、[移動ぼかし]、[放射状ぼかし]の5つのモードがあります。 [詳細情報](#)



AKVIS Retoucher – 画像修復ソフトウェア

AKVIS Retoucher は、傷やチリを効果的に除去できるソフトウェアです。Retoucherでは、チリ、傷、破片、しみ、水腐れ、その他損傷を受けた写真に見受けられる不具合を除去することができます。Retoucherは、生産性を向上し、表面の不具合による作業を減らすことができます。 [詳細情報](#)



AKVIS Sketch – 写真から鉛筆画を作成しましょう！

AKVIS Sketch は、写真を鉛筆画や水彩画に自動的に変換するためのソフトウェアです。Sketch を使うと、黒鉛や色鉛筆、木炭や水彩の技法を真似て、実

際に描いたようなカラーや白黒の絵を作成することができます。 [詳細情報](#)



[AKVIS SmartMask](#) — 選択範囲の作成を簡単にします

AKVIS SmartMask は楽しみながら使え、時間も節約できる効率的な選択範囲用ツールです。今までにはない、シンプルな選択範囲用ツールです! 選択範囲の指定にかかる時間が短縮される分、創作活動に時間を使うことができます。 [詳細情報](#)



[AKVIS Watercolor](#) — 水彩画

AKVIS Watercolor は、本物さながらの素晴らしい水彩画を生成できます。Watercolor には、写真変換技法が二種類用意されています。水彩 (クラシック) または水彩 (輪郭) を選択できます。写真が本物の絵画ようになります! [詳細情報](#)

